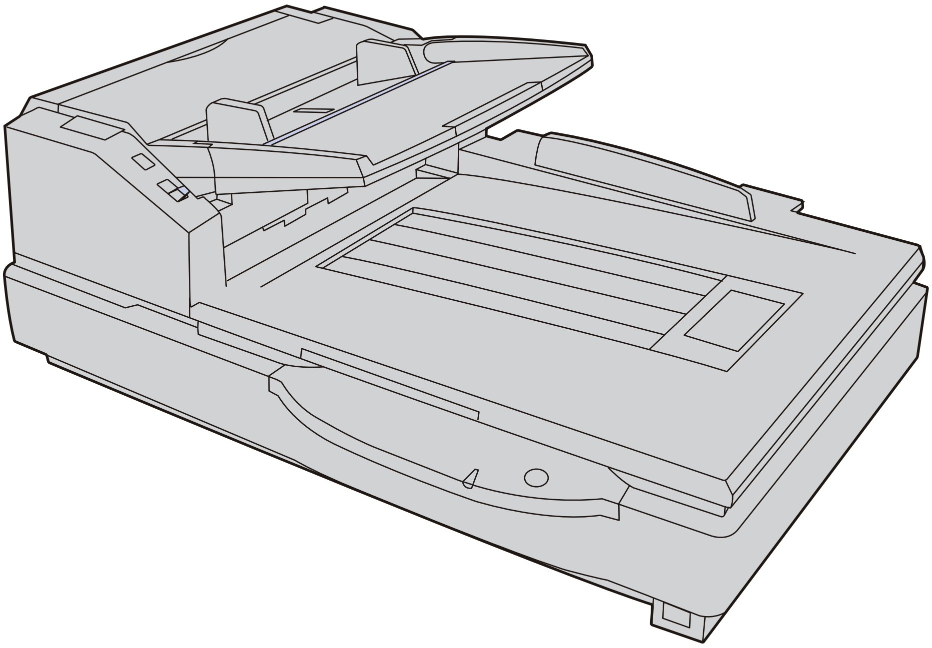
Panasonic

取扱説明書
(操作編)

高速カラースキャナー

品番　KV-S7075CN



●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（5～8ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書の構成について

取扱説明書（設置編）と取扱説明書（操作編）の 2 冊で構成されています。
それ以外に、ソフトウェア関連のリファレンスマニュアルが 3 冊付属されています。

設置編（印刷物）	設置の手順と方法を記載しています。
操作編（本書）	各部のなまえ、操作、機能、お手入れの方法など、本機をご使用いただくうえで必要となる情報を詳しく説明しています。
ソフトウェア関連のリファレンスマニュアル（電子マニュアル）	• PIE リファレンスマニュアル ISIS ドライバーまたは TWAIN ドライバーから PIE（Panasonic Image Enhancement Technology）の機能を使用する際の設定方法について説明しています。 • RTIV リファレンスマニュアル RTIV（Reliable Throughput Imaging Viewer）を使用する際の設定方法について説明しています。（ソフトウェアの操作画面にあるヘルプボタンから参照できます。） • ユーザーユーティリティーリファレンスマニュアル 保守に使用するユーザーユーティリティーについて説明しています。（ソフトウェアの操作画面にあるヘルプボタンから参照できます。）

■ 本書の表記について

マークについて

操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

お 願 い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項が書かれています。 必ずお読みください。
☞ ◯◯	ご覧いただきたい参照ページを記述しています。

表記について

- Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
- Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。
- Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
- Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

■ 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ISIS および QuickScan Pro は、EMC Corporation の登録商標または商標です。
- IBM および AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■ コンピューターのシステム環境

コンピューター	CD-ROM ドライブが使用可能な IBM® PC/AT® 互換機
CPU	Intel® Core™ 2 Duo、1.8 GHz 以上
オペレーティングシステム	Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista
インターフェース	USB 2.0
メモリー	1 GB 以上
ハードディスク	空き容量 5 GB 以上

お知らせ

- 上記の必要条件はすべてのオペレーティングシステムが推奨する条件を満たすものではありません。
- コンピューターの動作環境またはアプリケーションによっては、読み取り速度が異なる場合があります。
- USB 1.1 で接続した場合、読み取り速度が遅くなりますので、USB 2.0 インターフェースをご使用ください。
- USB ハブに接続した場合の動作は保証できません。

もくじ

ページ

はじめに

安全上のご注意 5
正しくお使いいただくためのお願い 9

準備

各部のなまえとはたらき 12
■ 電源スイッチ（電源を入れる） 14
■ 電源ランプ（LED）について 14

使う

ADF で原稿を読み取る 15
■ ADF 読み取り時のお願い 15
■ 読み取り原稿についてのお知らせ 16
■ 同一サイズの原稿を読み取る 17
■ 異なるサイズの原稿を読み取る 21
■ 原稿ガイドの左右位置を戻すには 24
フラットベッドで原稿を読み取る 25
■ フラットベッドで原稿を読み取る場合 25
コントロールシートを使う 27
■ コントロールシートの印刷について 28
■ コントロールシートの印刷手順 28
基準板の設定を変える 29
■ ADF を使用する場合 29
■ フラットベッドを使用する場合 30

必要なとき

原稿が詰まったとき 31
■ 給紙口付近で原稿が詰まっている場合 31
■ 排紙口付近で原稿が詰まっている場合 32
お手入れについて 33
■ 外側の清掃 33
■ 内側（読み取り部）の清掃 33
■ 給紙ローラー・分離ローラー・リタードローラーの清掃 34
■ 給紙口の駆動ローラーとフリーローラーの清掃 36
■ 排紙口の駆動ローラー・フリーローラー・排紙ローラーの清掃 37
■ 基準板と ADF ガラスの清掃 38
■ 原稿センサー、待機センサー、重送検知（発振）、重送検知（受信）の清掃 39
■ 始端センサー・スキューセンサー・排紙センサーと各センサー反射板の清掃 40
■ フラットベッドガラスと原稿カバーセンサーの清掃 41
ローラーを交換する 42
■ 給紙ローラーモジュールの交換 42
■ リタードローラーの交換 44
困ったとき !?（簡単なトラブル点検） 46
シェーディング補正 48

その他

再包装のしかた 49
仕様 50
保証とアフターサービス 52
さくいん 53

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**
（次は図記号の例です。）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ 電源コードを引っぱらず、電源プラグを持って抜く

電源コードを傷め、火災・感電の原因になります。

■ 異物（金属片・水・液体）が本機の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 必ず、アース線接続を行う

アース線接続

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

● アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴ったら本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 分解や修理、改造をしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

■ ローラークリーニングペーパーは、火気の近くでは使用しない

火気禁止

含まれたイソプロピルアルコールは、揮発性のため引火しやすく、火災の原因になります。

⚠注意

■必ず付属の電源コードを使用する

付属以外の電源コードを使用すると火災の原因になることがあります。

■本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所には設置しない

禁止

落下により破損・けがの原因になることがあります。

■通気孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■本機の上に重いものを置かない

禁止

落ちて、けがの原因になることがあります。

■連休などで長期間使用しない場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることがあります。

■落下したり、本機を破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

●お買い上げの販売店にご相談ください。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使わない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■本機の上にコップや水などの入った容器を置かない

禁止

水などがこぼれて本機にかかると、火災・感電の原因になることがあります。

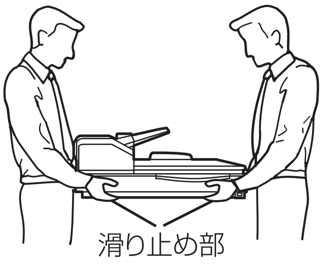
■排紙ドアを閉めるとき指のはさみ込みに注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

⚠注意

■ 機器を移動させる場合、必ず2人以上で底面の滑り止め部をしっかりと持つ



1人で持つと、落としてけがの原因になることがあります。

■ フラットベッドに磁気インクを使用した原稿、磁気カードを長時間放置しない

禁止

フラットベッドシートに磁石が使用されていますので、データが消えることがあります。

■ ローラークリーニングペーパーに含まれた液体を吸い込んだり、飲んだりしない

禁止

人体に害をおよぼすおそれがあります。

- 換気のよいところで使用してください。
- 使用中に気分が悪くなった場合は直ちに使用を中止し、新鮮な空気の所で安静にし、医師の診察を受けてください。

■ローラークリーニングペーパーを使うときは、保護手袋を使用する

皮膚の弱い人は、ローラークリーニングペーパーでかぶれるおそれがあります。

- 使用後は、石鹸でよく手を洗ってください。
- 誤って眼に入ったり、皮膚や顔についた場合は直ちに水で洗い、医師の診察を受けてください。

正しくお使いいただくためのお願い

■ 取り扱い

- **湿度の高いときや、寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、そのまま使用しないでください**
  本機が結露することがあります。そのまま使用しますと原稿読み取りが不十分となりますので、内部のローラーを乾いた布でふき、暖かい部屋に 1 ～ 2 時間放置して、内部が乾いてからご使用ください。
- **直射日光の当たる場所や冷暖房機の近くに置かないでください**
  温度 30 ℃ 以上、15 ℃以下および湿度 80 % 以上、30 % 以下は誤動作、変形、故障の原因になります。
- **静電気の発生しやすいじゅうたんなどの上には置かないでください**
  静電気が発生し、故障の原因になります。

■ CD-ROM の取り扱い

- **CD-ROM の表裏に文字を書いたり、紙を貼らないでください**
  データが正常に読み取れなくなります。
- **信号面に触れないでください。また、持つときは、指紋や傷がつかないように持ってください**
  ラベルのない虹色の面は、データが書き込まれている信号面です。信号面が汚れると、データが正常に読み取れなくなります。
- **長時間直射日光の当たるところや暖房機などの近くに放置しないでください**
  CD-ROM が変形し、データが正常に読み取れなくなります。
- **投げたり、曲げたりしないでください**
  CD-ROM に傷がついたり、変形したりすると、データが正常に読み取れなくなります。

■ ローラークリーニングペーパーの取り扱い

- **乳幼児の手の届かないところに保管してください**
- **40 ℃以上になる場所や直射日光の当たる場所には保管しないでください**
- **ローラーや ADF ガラスの清掃以外の目的には使用しないでください**
- **ローラークリーニングペーパーに関しての詳細を知りたい場合は、安全データシート（MSDS）などの資料をご請求ください**

■ その他

- **原稿を読み取る前に、クリップやとじ針（ステープル）を必ずはずしてください**
  本機を破損したり、原稿を傷める原因になることがあります。
- **お手入れのときは、柔らかい乾いた布を使用してください**
  研磨剤入りの洗剤やシンナー、ベンジンなどは使わないでください（変形、変色の原因になります）。
- **電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください**
- **付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください**

正しくお使いいただくためのお願い

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますので十分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
  1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  2. 未使用の郵便切手、官製はがき
  3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 電源の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。又、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。
（J60950（H19）の要求による記述）

■ 電源高調波について

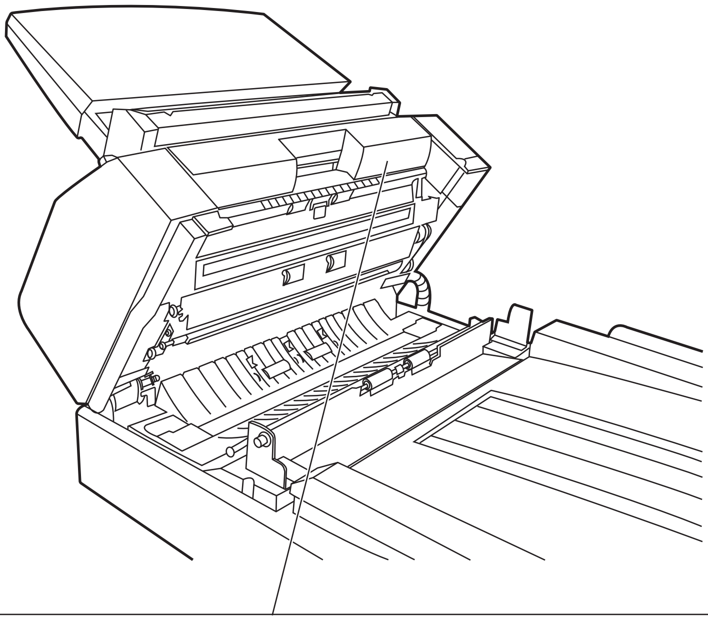
JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

■ セキュリティに関するお願い

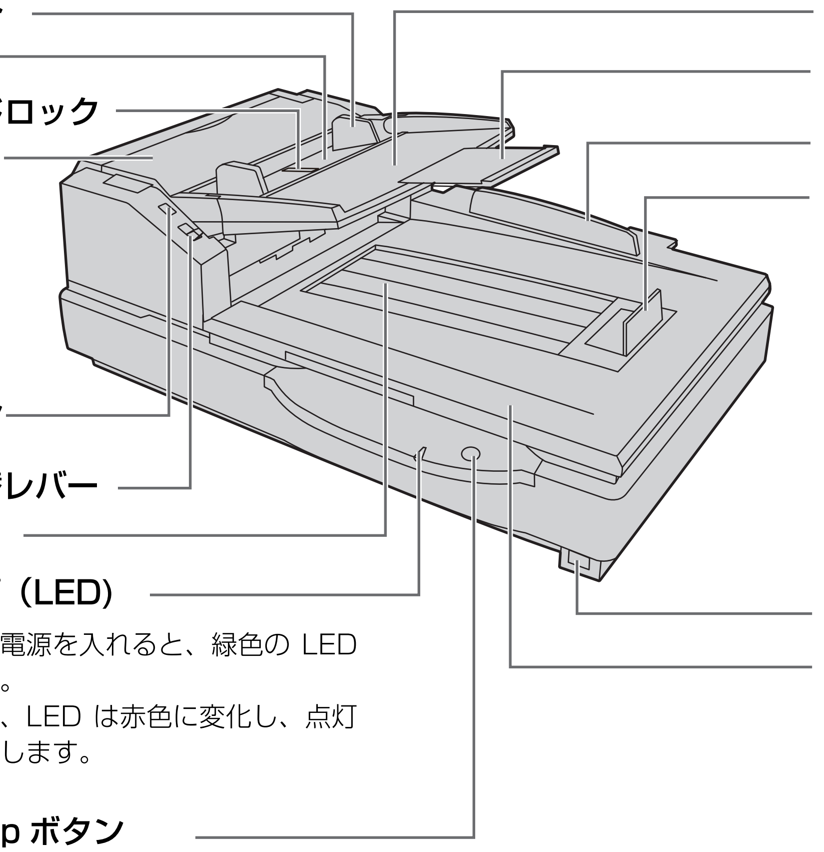
スキャナーで読み取る原稿や読み取ったデーターの管理はお客様の責任にて行ってください。
特に以下についてご注意ください。

- 重要な原稿は、読み取りの前後で枚数が一致していることを確認し、取り忘れなどのないようにしてください。
- 重要なデーターは定期的にバックアップしてください。
- PC やハードディスクなどの修理や廃棄をするときは、内部の画像データを完全に消去してください。

■ 製品に貼られている安全上のラベル



各部のなまえとはたらき

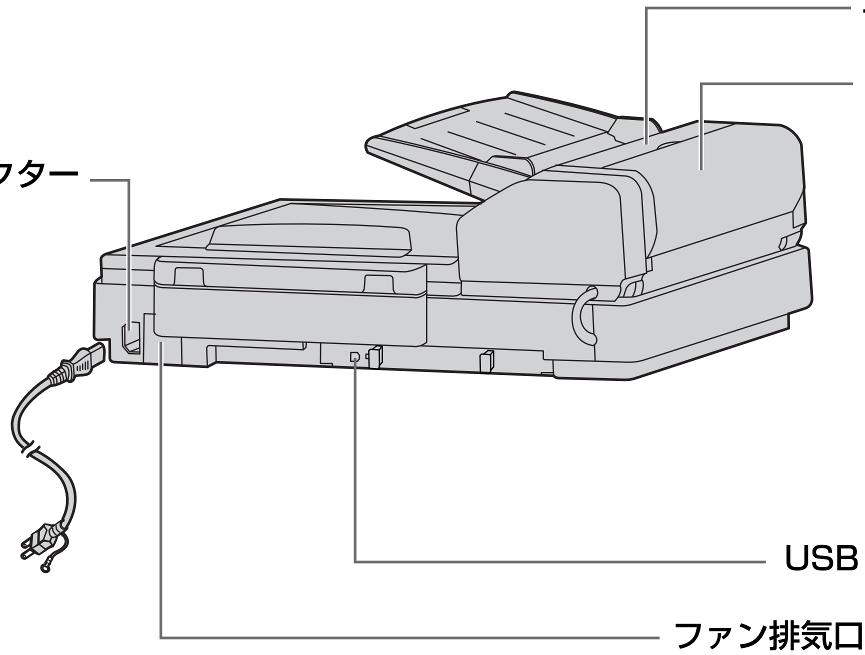


電源ランプ（LED）

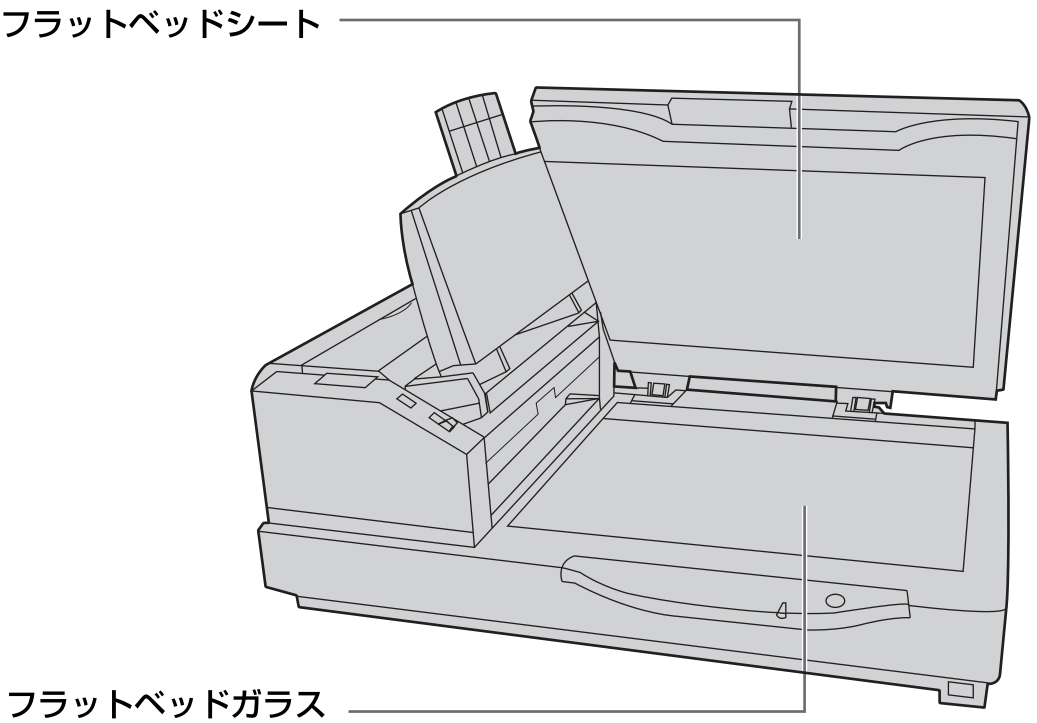
スキャナーの電源を入れると、緑色の LED が点灯します。
エラー発生時、LED は赤色に変化し、点灯あるいは点滅します。

Start/Stop ボタン

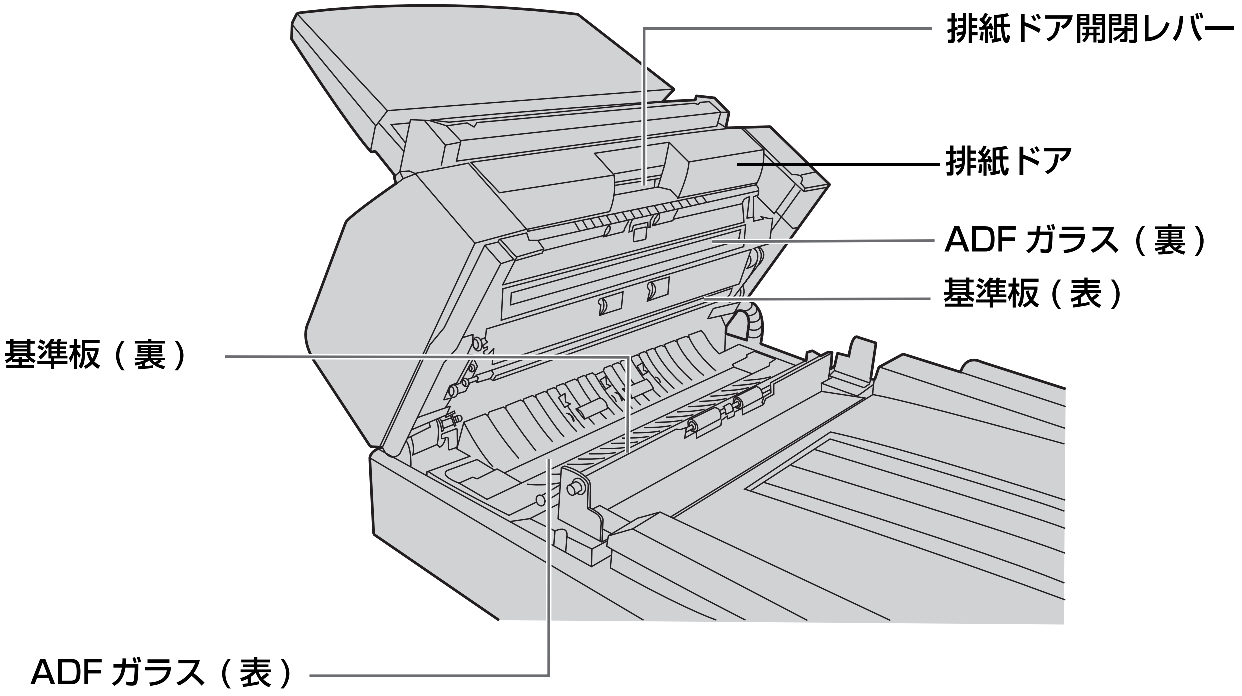
原稿読み取りの停止と開始に使用します。



原稿カバーを開けたところ



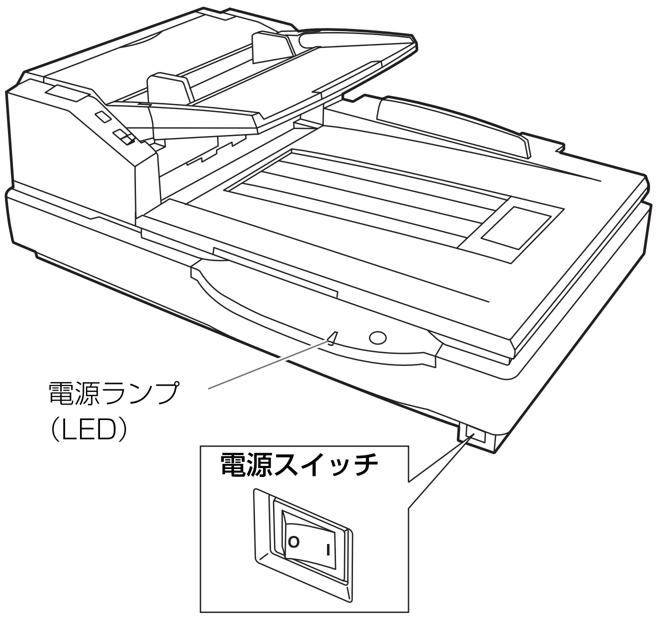
ADF を開けたところ



■ 電源スイッチ（電源を入れる）

1 スキャナーの電源を入れます。

- **電源ランプ（LED）が点灯します。**



■ 電源ランプ（LED）について

電源ランプ（LED）は下表のようにスキャナーの状態を示します。

LED	スキャナーの状態
緑	待機中、スキャン中
緑（点滅）	省電力モード
橙	待機中、スキャン中（注意あり）※1
橙（点滅）	初期化中
赤	エラー発生時 ※2

※1: ローラーを清掃または交換する必要があります。
ローラーの清掃や交換方法については取扱説明書（CD-ROM）をご参照ください。

※1, ※2: 注意、エラーの内容はユーザーユーティリティーで確認してください。
ユーザーユーティリティーは CD-ROM に収められています。
インストールの方法は、取扱説明書（設置編）の「ソフトウェアをインストールする」をご参照ください。

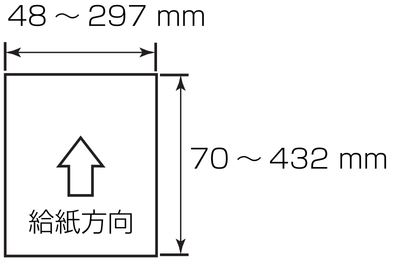
ADF で原稿を読み取る

ADF（Automatic Document Feeder）とは自動給紙のことで、枚数の多い原稿などを読み取るときに便利です。
原稿の読み取りは、コンピューターからの指示によって行われます。

■ ADF 読み取り時のお願い

- 本機で読み取り可能な原稿は以下の通りです。

1. 原稿のサイズ :



2. 原稿の紙厚とホッパーにセットできる枚数
紙厚：40 ～ 127g/m²
A7 幅以下は 127g/m² のみ

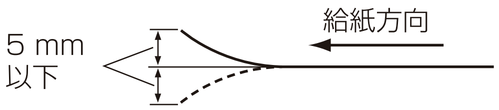
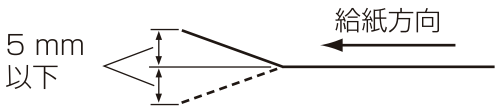
ホッパーに原稿をセットできる枚数：

紙厚 g/m²	40	52	64	75	80	90	104	127
枚数	320	260	200	170	160	140	120	100

- 上記の枚数は、新紙を使用した場合の目安です。
- ホッパーに積載可能な枚数は紙質にもよります。給紙の不具合が発生する場合は原稿の枚数を減らしてください。

3. 原稿の種類
推奨できる原稿の種類は以下の通りです。
・上質紙　　・普通紙（PPC）

ただし、以下の条件を満たすもの

カール	
折れ	

厚みやサイズの異なる原稿を混載する場合

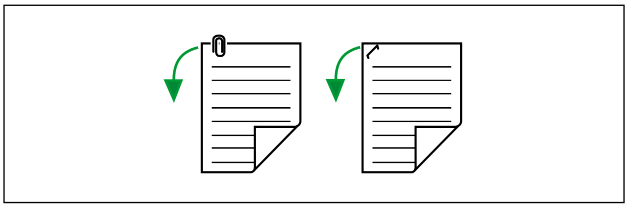
原稿の厚み	最薄紙と最厚紙の厚みの比が 1.5 以内
原稿のサイズ	最小原稿サイズと最大原稿サイズの幅の比と長さの比がそれぞれ 1.5 以内（最小原稿サイズは A6） 例）最小原稿サイズが A4 の場合は最大 A3 サイズまで、最小原稿サイズが A6 サイズの場合は最大 A5 サイズまで混載可能

4. 読み取りが困難な原稿
以下の原稿は、うまく読み取れない場合があります。
- 破れたり、周辺にきざみのある原稿
- カール、しわ、折り目のある原稿
- カーボン付き原稿
- 四角以外の異形原稿
- 端辺にミシン目や穴のある原稿
- コーティング紙
- トレーシングペーパー
- 感熱紙

以下の原稿は、使用しないでください。
- 写真
- OHP シート、プラスチックフィルム、布地または金属シートなど
- クリップ、とじ針（ステープル）、のりの付いた原稿
- インク、朱肉などが乾ききっていない原稿
- 封筒、切り貼りした原稿など、紙の厚さが不均一なもの

■ 読み取り原稿についてのお知らせ

- 読み取りが困難な原稿や、読み取り可能な原稿であっても、紙質によってはうまく読み取れない場合があります。重送や紙詰まりが発生する場合は、以下の方法で読み取ってください。
  - ローラーとセンサーを清掃する
  - ホッパーにセットする原稿の枚数を減らす
  - 縦置きを横置きに、または横置きを縦置きにする
  - 手差し読み取りで 1 枚ずつ読み取る
  - 読み取り速度を「低速」にする
  - フラットベッドで読み取る
- 原稿を読み取る前に、クリップやとじ針（ステープル）を必ずはずしてください。本機を破損したり、原稿を傷める原因になることがあります。



- 原稿を読み取る前に、カール、しわ、または折れのない状態にしてください。紙詰まりの原因になったり、原稿を傷める原因になることがあります。
- 特に重要な原稿を読み取る場合は、読み取った画像およびその枚数が、元の原稿と合っていることを、必ず確認してください。
- 排紙トレイ上に排紙された原稿は、その都度取り除いてください。

■ 同一サイズの原稿を読み取る

お 願 い

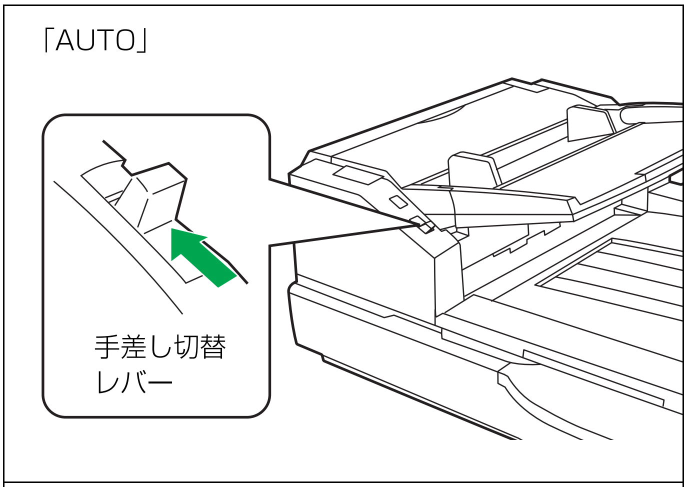
- クリップやとじ針で綴じられた原稿は使用しないでください。
- 天のりがはがれていたり、周辺が破れている原稿は、フラットベッドで読み取ってください。（ADF で読み取ると、原稿が破れたりして、紙づまりの原因になります）

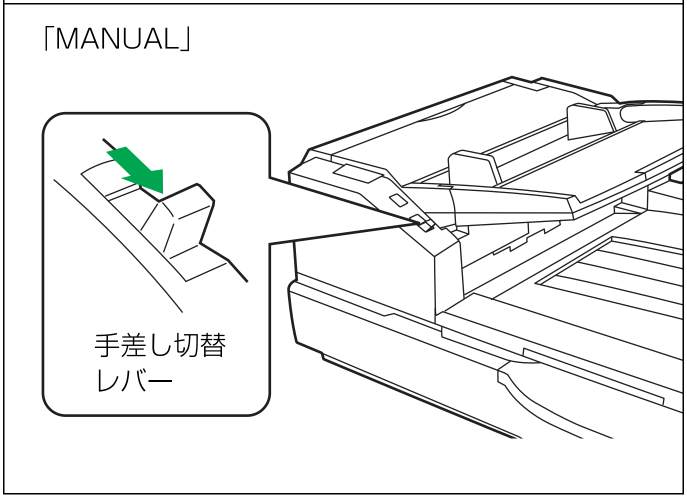
1 手差し切替レバーを「AUTO」または「MANUAL」にセットします。

「AUTO」：連続読み取り
「MANUAL」：手差し読み取り

お 願 い

- **手差し切替レバーを「MANUAL」にしたときは 1 枚づつ原稿を読み取ってください。**
- **重要書類、または複葉紙を読み取るときは、手差しで読み取ってください。**

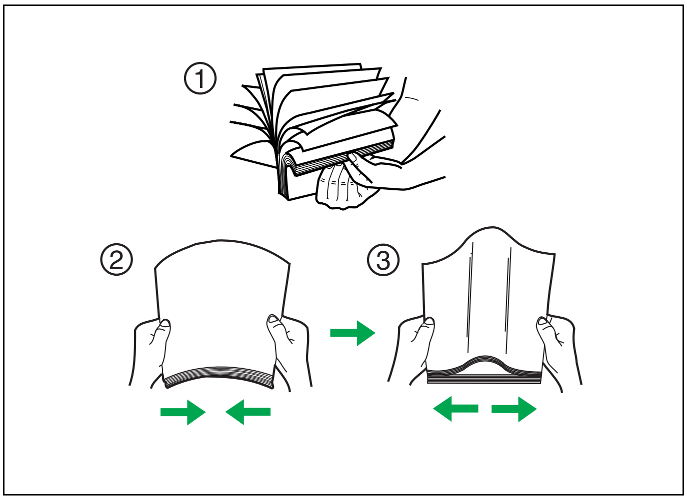




2 とじ針でとじられていた原稿やファイルされていた原稿は、重送などの防止のため、セットする前によくさばいておく必要があります。

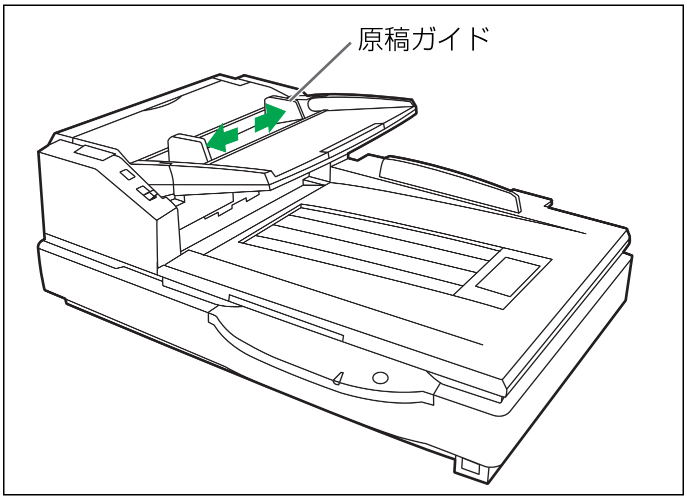
1 原稿の各端をさばいて密着している束状の原稿を分離します。
2 原稿の両端を持って、図のように曲げます。
3 原稿をしっかりとつかんで図のように両側へ引っ張り、中央部に波状のふくらみを作って分離します。

- **上記の手順を必要に応じて繰り返します。**



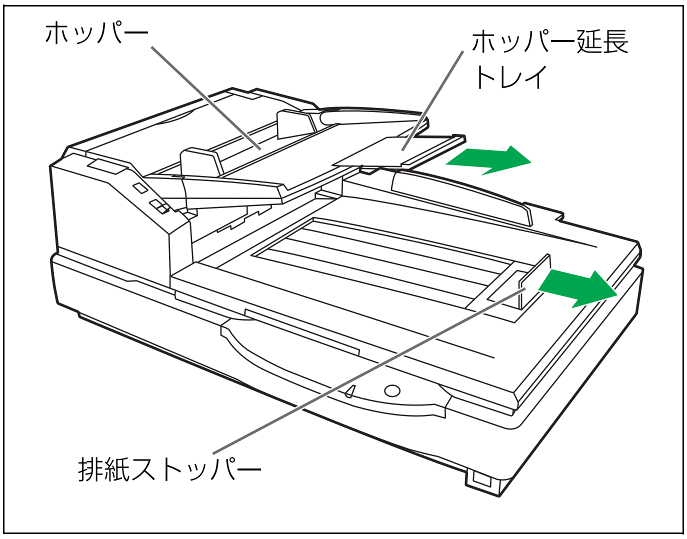
3 原稿をきちんとそろえます。

4 原稿ガイドをセットする原稿サイズよりやや広めの位置に合わせます。



5 【縦長の原稿をセットする場合】
（ホッパーから原稿がはみ出す場合）

1 ホッパー延長トレイをホッパーから引き出します。
2 排紙ストッパーを、原稿よりやや長めの位置まで矢印方向に持ち上げてスライドさせて合わせます。



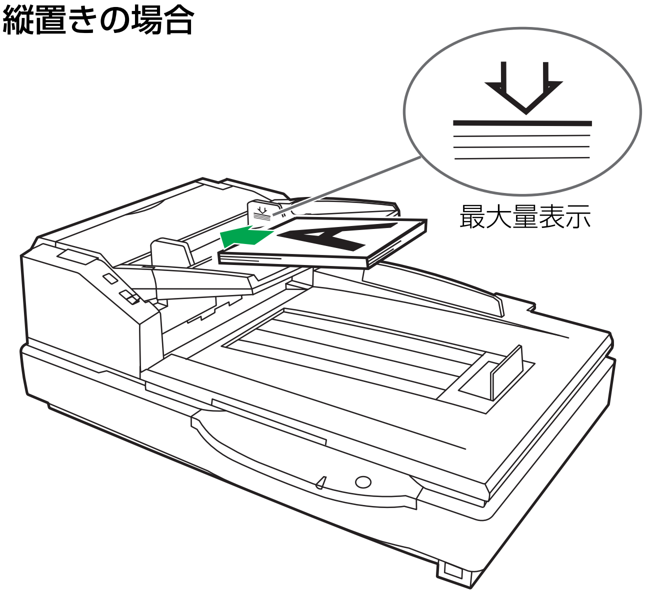
6 読み取る面を上向きにして、ホッパーに原稿をのせ、矢印方向に止まるまで挿入します。

- **ホッパーに一度に載せられる原稿枚数は、約200 枚（紙厚 64g ／ m^2）です。**

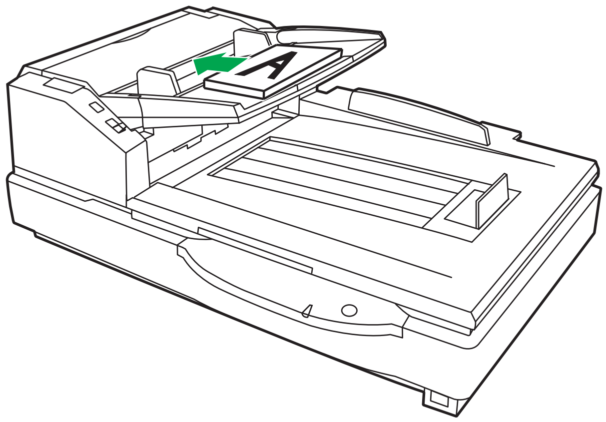
お 願 い

- **原稿は、原稿ガイドにある最大量表示位置(右図参照)を超えないようにセットしてください。(最大量を超えると、紙づまりや原稿の斜め読みの原因になります)**

縦置きの場合



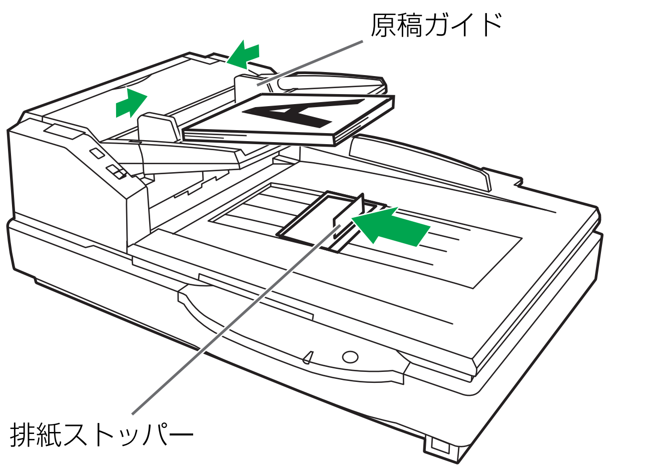
横置きの場合



7 原稿ガイドを矢印方向に寄せ、原稿の幅に合わせます。
排紙ストッパーを原稿の長さに合わせてスライドさせます。

お 願 い

- **原稿の長さが 420 mm （A3 サイズ）または 432 mm（17 インチ）と 2540 mm（100 インチ）の間の原稿を読み取る場合、排紙ストッパーを閉じます。**



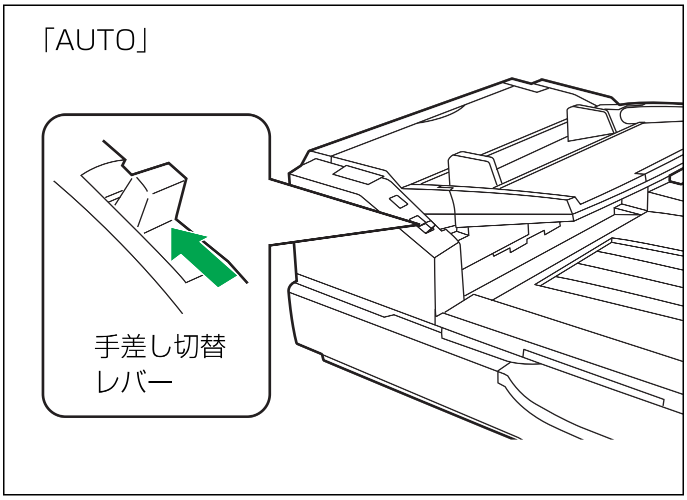
8 アプリケーションソフト＊1 を使って原稿を読み取ります。

＊1 付属の RTIV や QuickScan Pro デモなど、スキャナーから画像読み取りを行うためのソフトウェア

■ 異なるサイズの原稿を読み取る

混載の条件については、「厚みやサイズの異なる原稿を混載する場合」（☞ 15 ページ）をご参照ください。
- 異なるサイズの原稿を同時に読み取る場合は、排紙された原稿がばらけて順番通りに並ばないことがあります。

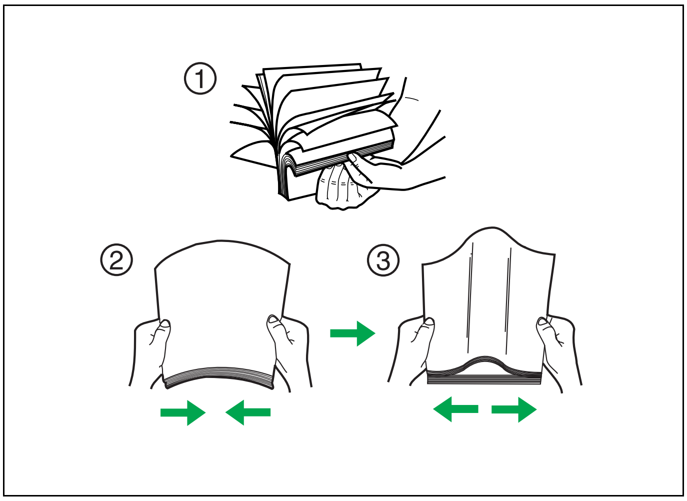
1 手差し切替レバーを「AUTO」にセットします。



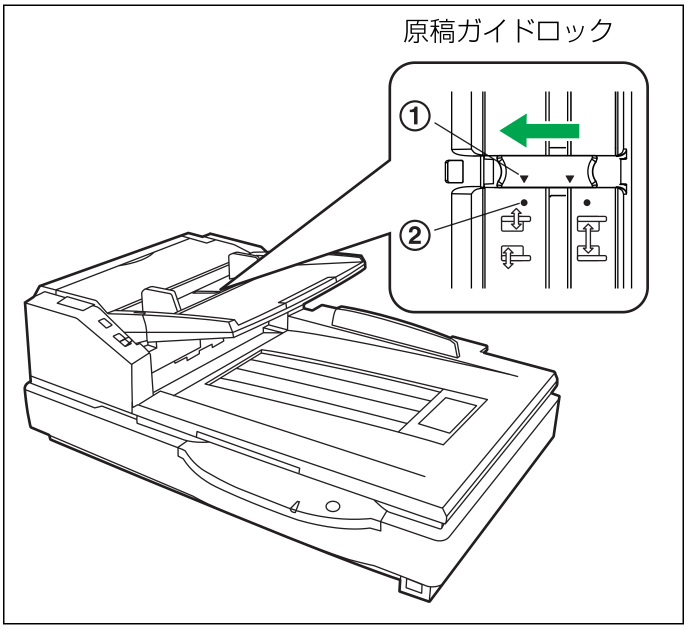
2 とじ針でとじられていた原稿やファイルされていた原稿は、重送などの防止のため、セットする前によくさばいておく必要があります。

1 原稿の各端をさばいて密着している束状の原稿を分離します。
2 原稿の両端を持って、図のように曲げます。
3 原稿をしっかりとつかんで図のように両側へ引っ張り、中央部に波状のふくらみを作って分離します。

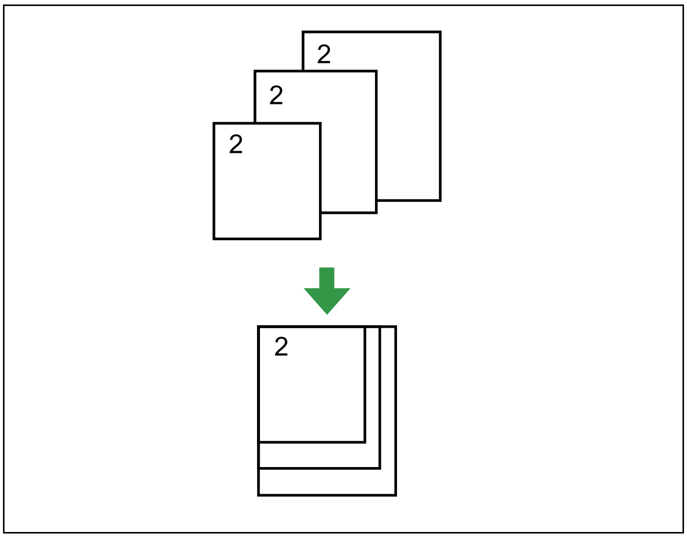
- **上記の手順を必要に応じて繰り返します。**



3 原稿ガイドのロックを解除します。
ロックを解除するためには図の方向に原稿ガイドロックをスライドさせて▼（①）と●（②）を合わせます。

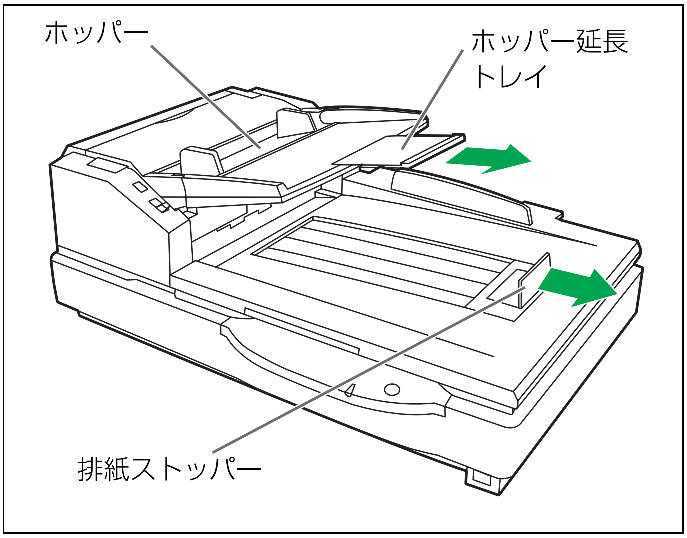


4 原稿を片方によせてそろえます。



5 【縦長の原稿をセットする場合】
（ホッパーから原稿がはみ出す場合）

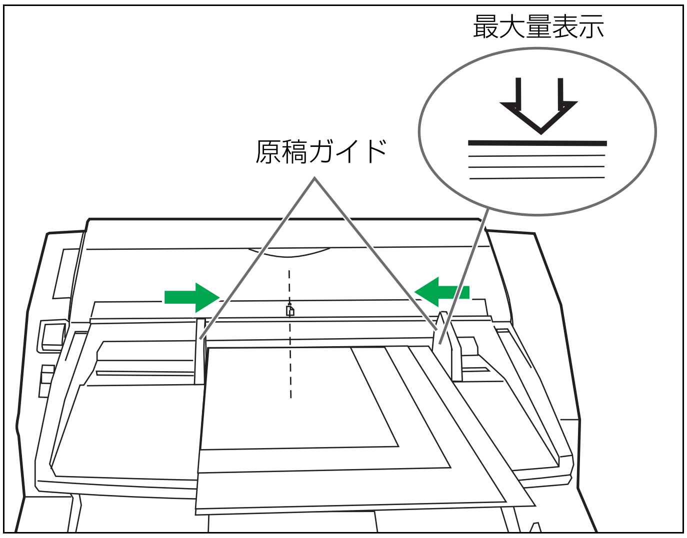
1 ホッパー延長トレイをホッパーから引き出します。
2 排紙ストッパーを、原稿よりやや長めの位置まで矢印方向に持ち上げてスライドさせて合わせます。



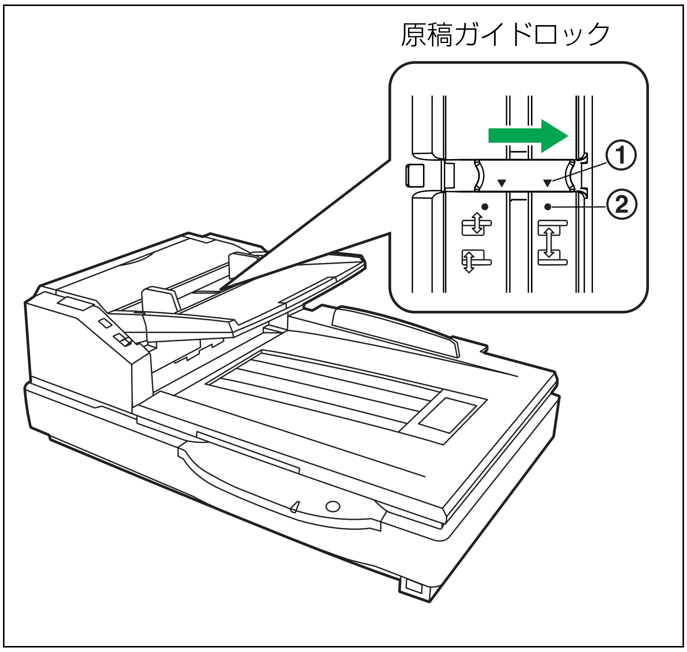
6 一番小さい原稿の中心と給紙口の中心を合わせてホッパーに載せ、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

お 願 い

- **原稿は、原稿ガイドにある最大量表示位置（右図参照）を超えないようにセットしてください。（最大量を超えると、紙づまりや原稿の斜め読みの原因になります）**
- **原稿の種類によっては、うまく給紙されないことがあります。その場合には、ホッパーに載せる原稿の枚数を減らしてください。**



7 原稿をはずして、原稿ガイドをロックします。
原稿ガイドをロックするためには図の方向に原稿ガイドロックをスライドさせて▼（①）を●（②）を合わせます。



8 原稿をホッパーに戻し、原稿ガイドを原稿に合わせます。

お 願 い

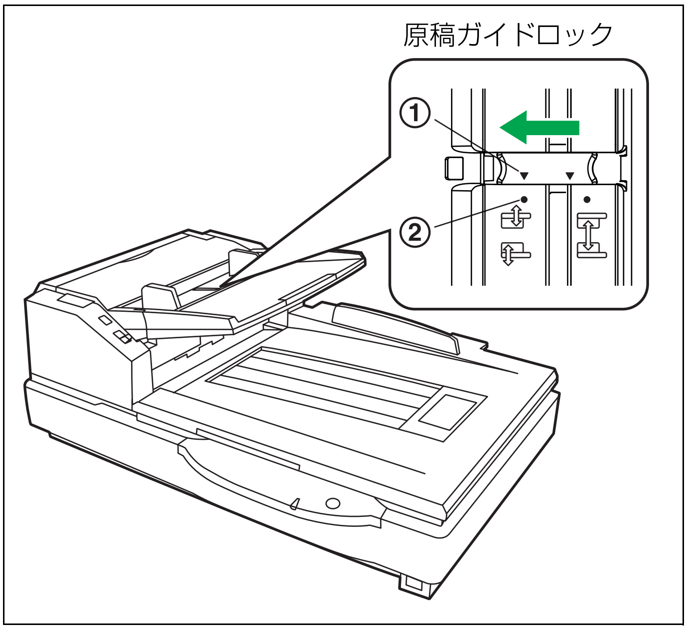
- **原稿が片方に揃っていることを確認してください。**
- **一番小さい原稿の中心と給紙口の中心が合っていることを確認してください。**

9 アプリケーションソフト*1 を使って原稿を読み取ります。

*1 付属の RTIV や QuickScan Pro デモなど、スキャナーから画像読み取りを行うためのソフトウェア

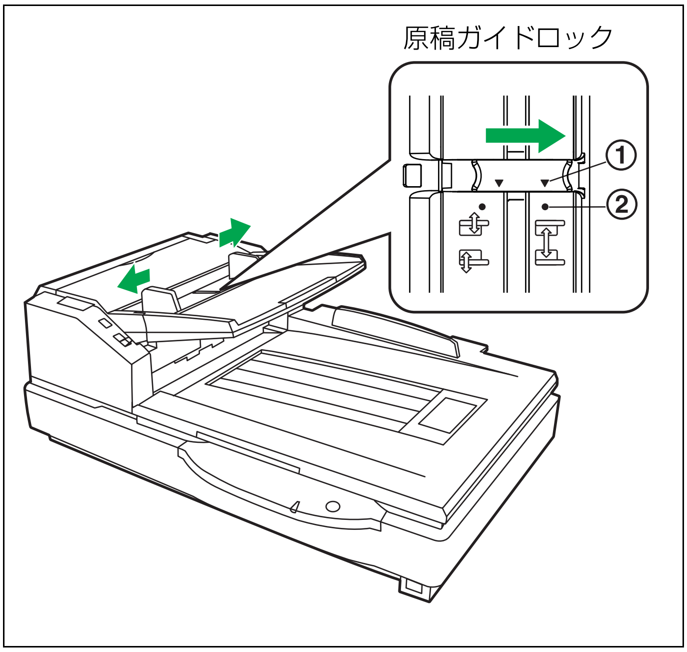
■ 原稿ガイドの左右位置を戻すには

1 原稿ガイドのロックを解除します。
ロックを解除するためには図の方向に原稿ガイドロックをスライドさせて、▼(①)と●(②)を合わせます。



2 原稿ガイドをいっぱいに広げる。

3 原稿ガイドをロックします。
ロックするためには図の方向に原稿ガイドロックをスライドさせて、▼(①)と●(②)を合わせます。



フラットベッドで原稿を読み取る

本などのように分厚い原稿は、フラットベッドガラスに載せて読み取ります。

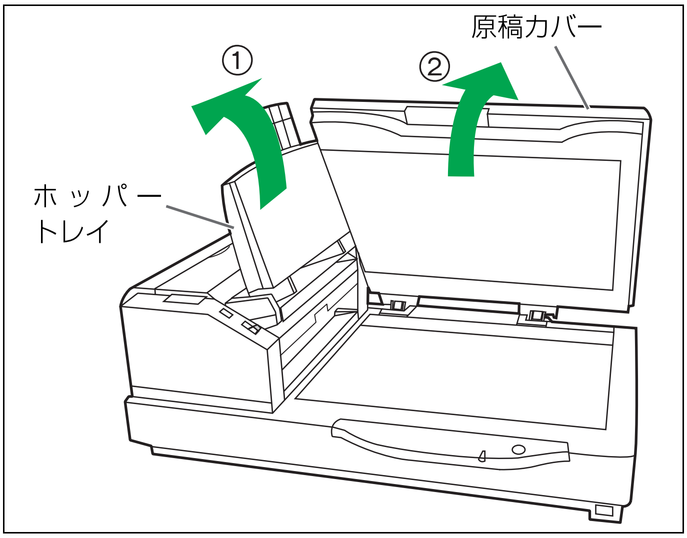
■ フラットベッドで原稿を読み取る場合

1 ホッパートレイを上げます。

2 原稿カバーを開けます。

お 願 い

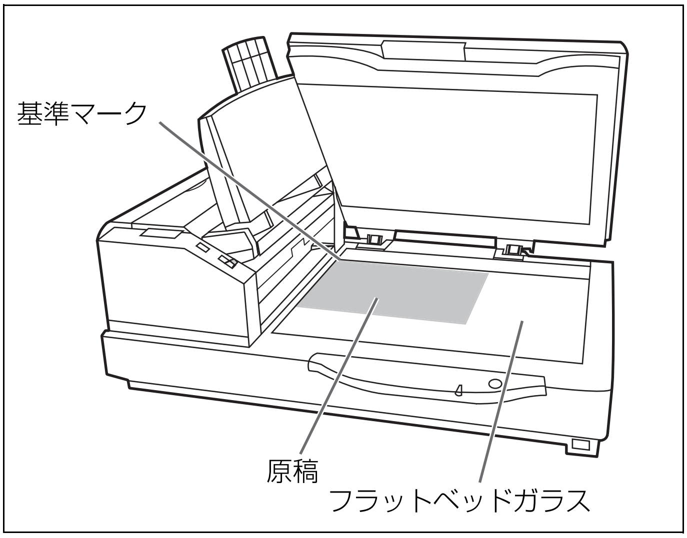
- **必ずホッパートレイを上げてから原稿カバーを開けてください。(ホッパーが壊れるおそれがあります)**



3 読み取り面を下向きにして、フラットベッドガラスの左上隅に原稿をセットします。

お 願 い

- **折れ曲がった紙・しわや巻ぐせのある紙は、セットする前にまっすぐ伸ばしてください。**

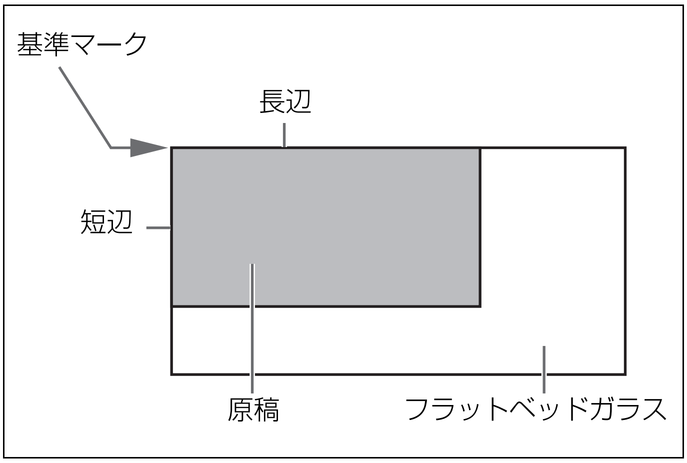


4 原稿の短辺をフラットベッドガラスの左端にきちんと合わせます。

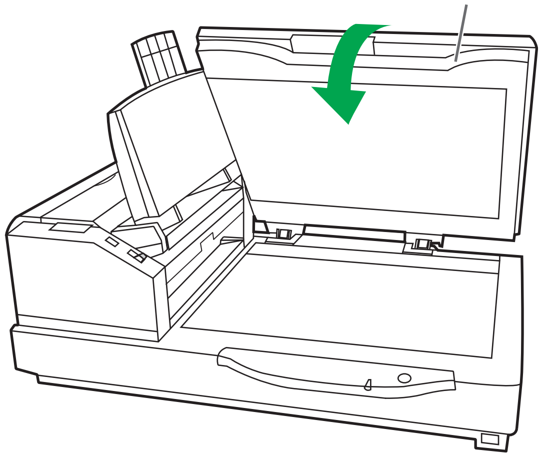
5 原稿の長辺を基準マークに合わせます。

お 願 い

- **フラットベッドガラスに対して原稿を斜めにセットしないでください。正しく読み取れません。**



6 原稿カバーをゆっくり閉めます。



7 アプリケーションソフト*1 を使って原稿を読み取る

*1 付属の RTIV や QuickScan Pro デモなど、スキャナーから画像読み取りを行うためのソフトウェア

お 願 い

- 読み取り開始前に、必ず原稿カバーを閉めてください。
- 原稿カバーは勢いよく開閉しないでください。また、読み取り中は原稿カバーを開閉しないでください。（セットした原稿が動いて、正しく読み取れないことがあります）
- 読み取りが終わったら、原稿カバーを開けて原稿を取り除いてください。

分厚い原稿を読み取るときのお願い

- フラットベッドガラスに触れてない部分は、正しく読み取れません。
- 読み取り中に原稿を動かさないでください。

⚠注意

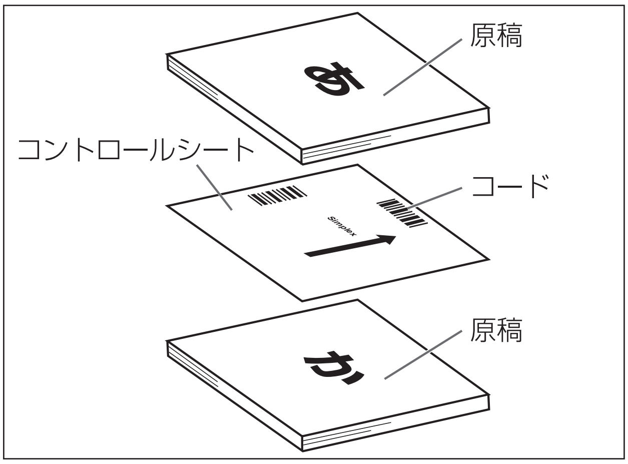
フラットベッドに磁気インクを使用した原稿、磁気カードを長時間放置しない

禁　止

フラットベッドシートに磁石が使用されていますので、データが消えることがあります。

コントロールシートを使う

コントロールシートを使用すると、読み取り途中で読み取り条件を変更することができます。コントロールシートを原稿の間にはさんで読み取りを行うと、コントロールシートの次の原稿から読み取り条件が変更されます。
コントロールシートは、付属の CD-ROM に収められています。

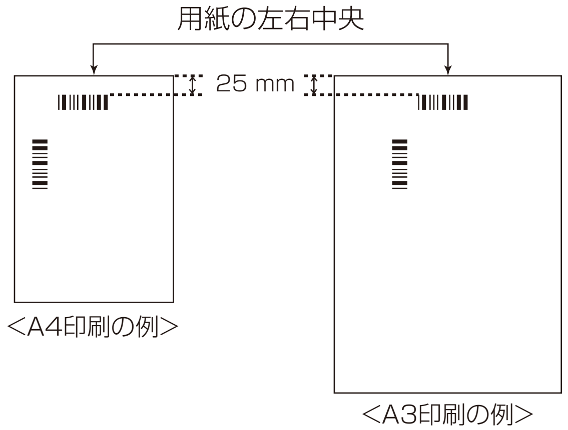


コントロールシートの機能
片面読み取り、両面読み取り、２値化、２５６階調グレー、カラー、ダイナミックスレッシュホールド、ディザ、誤差拡散、ユーザー定義 No.1 ～ 9、セパレーションシート

- 複数枚のコントロールシートが同時に使用できます。
- コントロールシートの機能を使用するには、お使いのアプリケーションソフトがコントロールシートに対応している必要があります。ご使用の際は、お使いのアプリケーションソフトの説明書をご参照ください。
- コントロールシートは、付属の CD-ROM より印刷してご使用ください。

■ コントロールシートの印刷について

- 拡大／縮小をせずに、指定のサイズの用紙に印刷してください。
- 印刷後のパターンが用紙の上端から 25 ミリ、左右中央の位置にくるように調整してください。



- 読み取りの際は、読み取り原稿と同じサイズの用紙に印刷して使用してください。
- 汚したり、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。正しく読み取ることができなくなります。
- コントロールシートの詳細については、PIE リファレンスマニュアルの「2.40　コントロールシート検出」をご参照ください。

■ コントロールシートの印刷手順

- コントロールシートを印刷するためには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。
- 印刷条件の設定については、お使いのプリンターの説明書をご参照ください。

1 コンピューターの CD/DVD ドライブに付属の CD-ROM を挿入する

- **クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。**
- **セットアップ画面が表示されます。**
  - **Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、［CDRun.exe］を選択します。**
  - **クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、［マイコンピュータ］（Windows Vista では [コンピュータ]）から CD/DVD ドライブを選び、［CDRun.exe］をダブルクリックしてください。**

2 お使いになるスキャナーを選択する

3 画面右側の「マニュアル」リストから「コントロールシート」を選択する

4 原稿と同じサイズのコントロールシートを印刷する

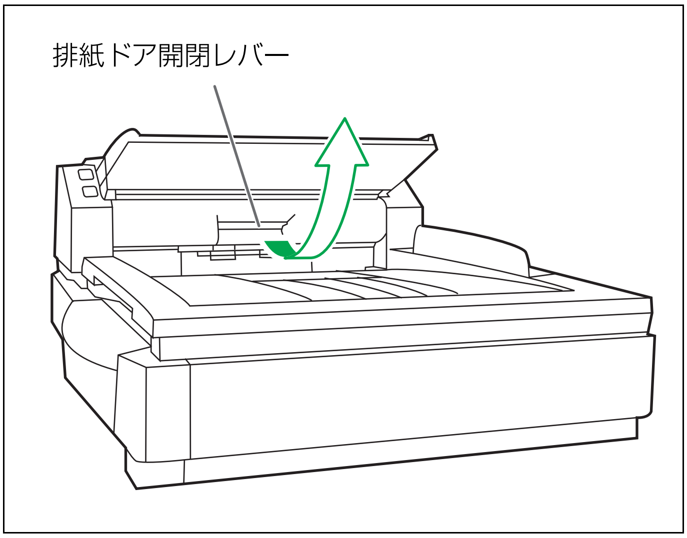
基準板の設定を変える

本機は読み取りの背景を白または黒のいずれかに選択することができます。工場出荷時は黒に設定されています。基準板（裏）、基準板（表）とフラットベッドシートを同時に変更する必要があります。

■ ADF を使用する場合

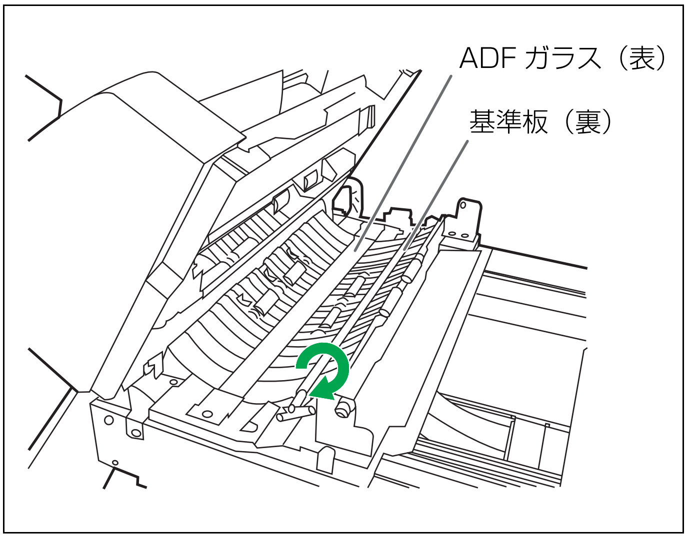
1 スキャナーの電源を切ります。

2 排紙ドア開閉レバーを引いて排紙ドアを開けます。



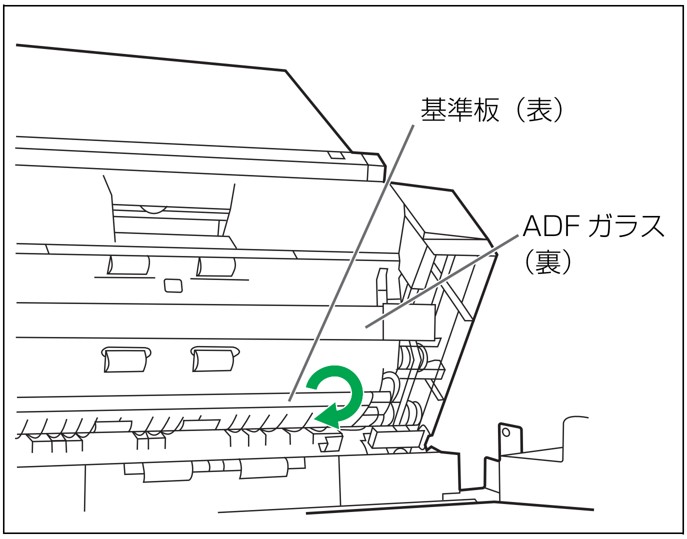
3 基準板（裏）を反転させます。

- **基準板が確実に反転して固定されていることを確認してください。**



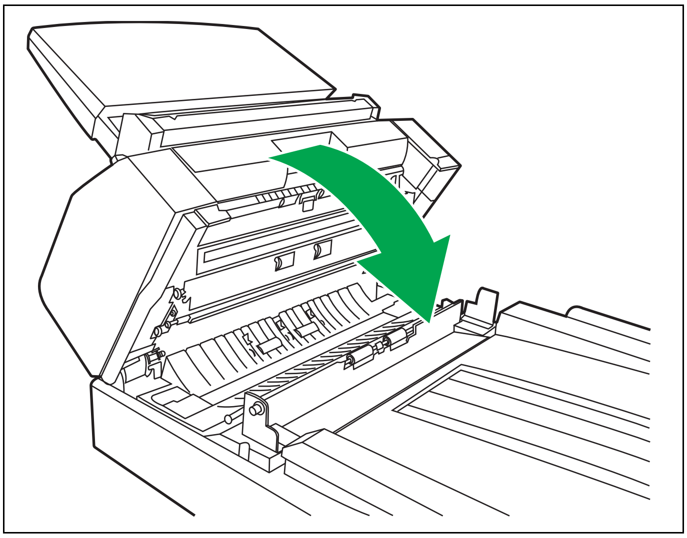
4 基準板（表）を反転させます。

- **基準板が確実に反転して固定されていることを確認してください。**



5 排紙ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



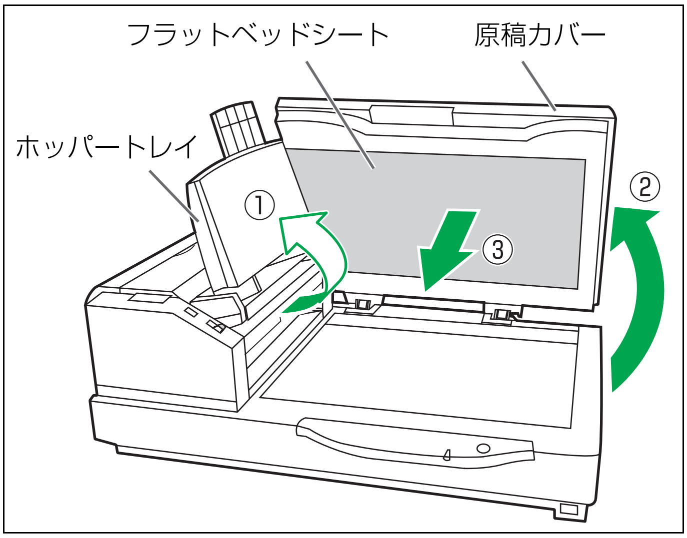
■ フラットベッドを使用する場合

1 スキャナーの電源を切ります。

2 ホッパートレイを矢印の方向に上げます（①）。

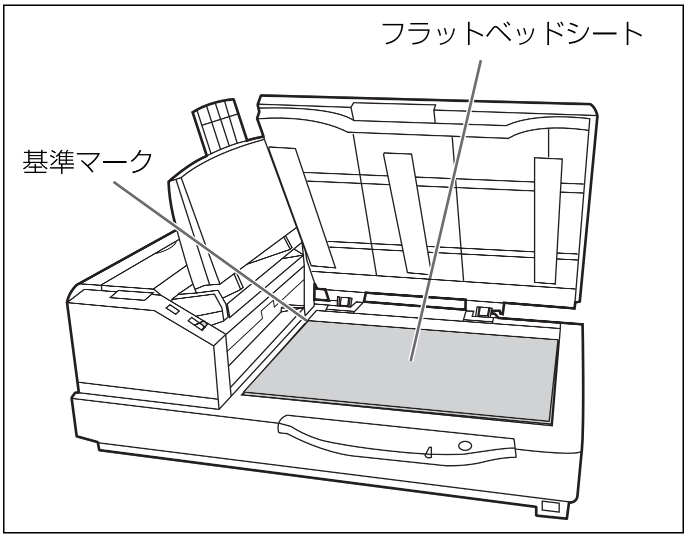
3 原稿カバーを開け（②）、フラットベッドシートを取り外します（③）。

- **フラットベッドシートは磁石で原稿カバーに取り付けられています。**



4 フラットベッドシートの表・裏を反転させてガラスの左上隅に置きます。

- **フラットベッドシートは左寄りに取り付けてください。**



5 原稿カバーを閉めます。

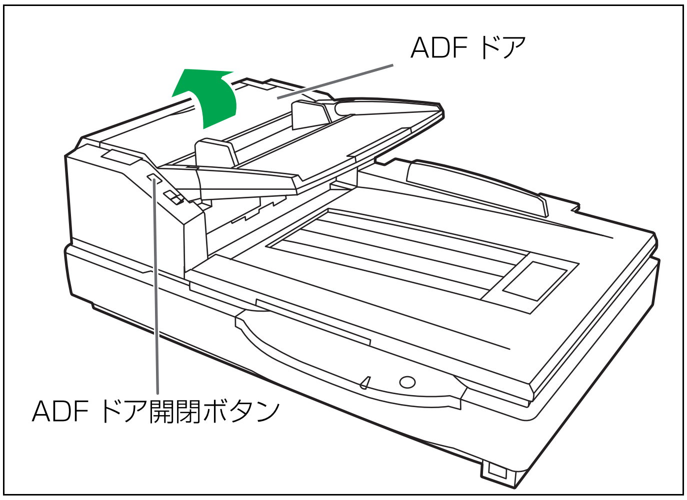
- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。
フラットベッドシートが原稿カバーにつきます。**

原稿が詰まったとき

先端が折れ曲がっていたり、破れている原稿、薄い紙の原稿などは、ADF 読み取り時に原稿詰まりの原因になります。原稿が詰まった場合は、下記の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

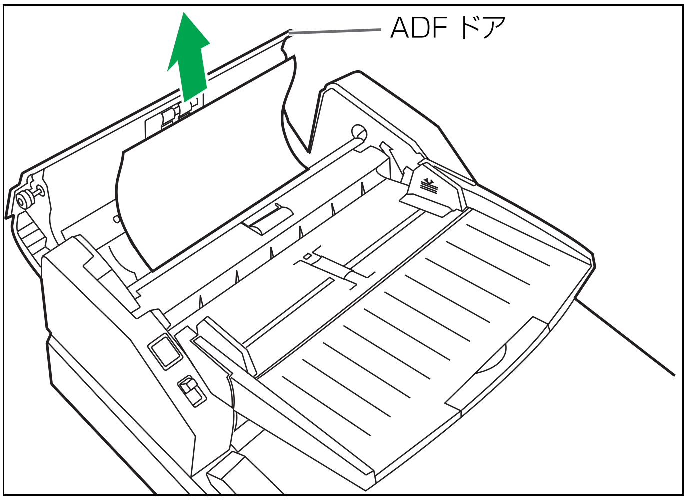
■給紙口付近で原稿が詰まっている場合

1 ADF ドア開閉ボタンを押し、ADF ドアを開けます。



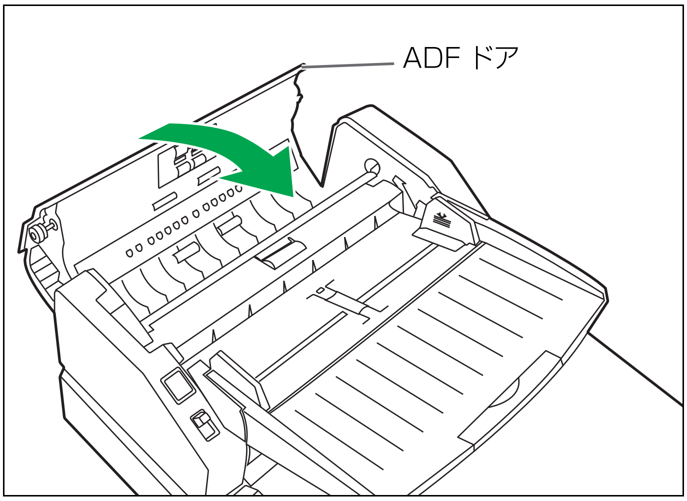
2 詰まった原稿を矢印方向に引き出します。

- **詰まった原稿が取り除けないときは，排紙口から取り除いてください。**
- **詰まった原稿の後端が少しだけ見えているときは、ADF ドアを閉じないで排紙ドアを開けて詰まった原稿を取り除いてください。ADF ドアを閉じると原稿を傷つける場合があります。**



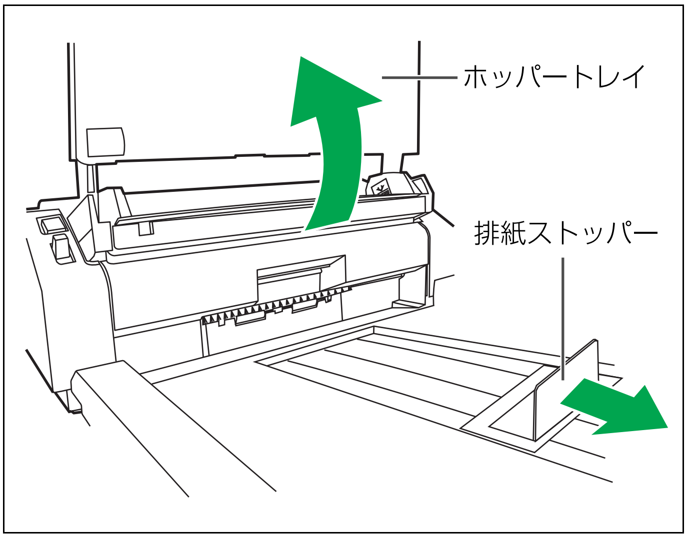
3 ADF ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



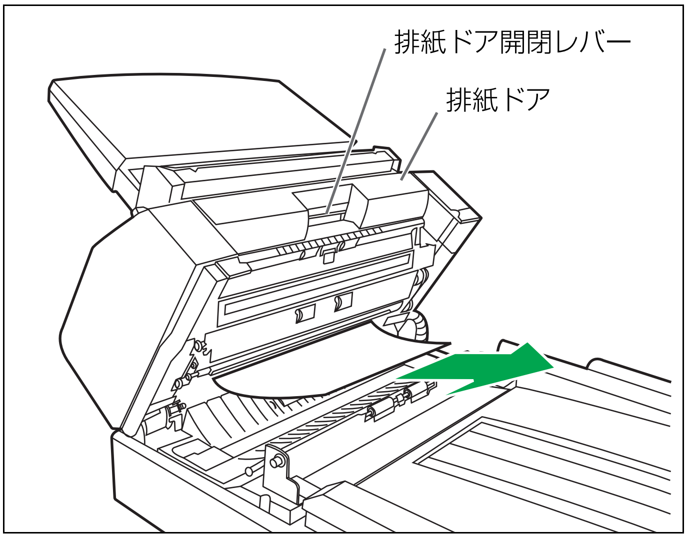
■排紙口付近で原稿が詰まっている場合

1 排紙ストッパーを矢印方向にスライドさせ、ホッパートレイを上げます。



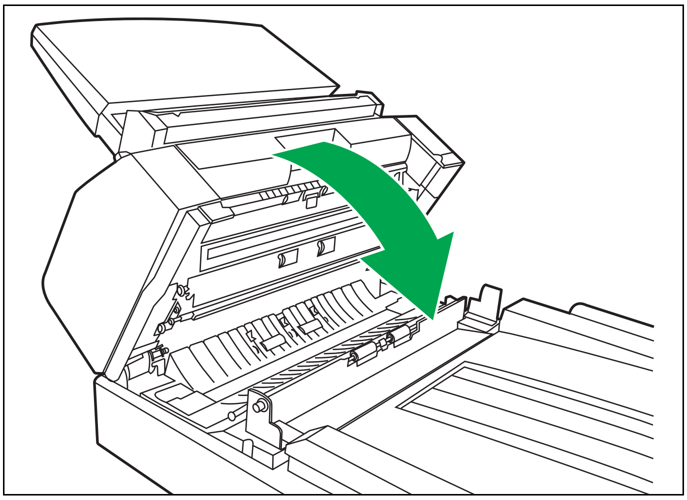
2 排紙ドア開閉レバーを引いて排紙ドアを開け、詰まった原稿を矢印方向に引き出します。

- **詰まった原稿が取り除けないときは，給紙口から取り除いてください。**



3 排紙ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



お手入れについて

■外側の清掃

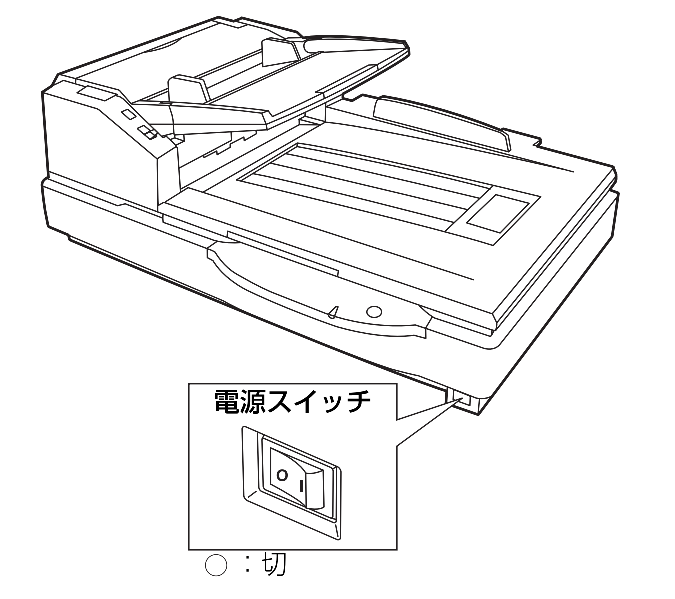
- 研磨剤入りの洗剤やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。（変形、変色の原因になります。）
- 1ヵ月に一度、以下の手順で行ってください。

1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 柔らかい布で本機の外側をふきます。

- **給紙口や排紙口（ホッパーの下）付近の汚れもふき取ってください。**

3 ブラシでファン排気口の汚れやほこりを取り除きます。



■内側（読み取り部）の清掃

少なくとも週に一度、または 2 万枚読み取り後のいずれか早い時期に清掃してください。

原稿づまりまたは重送が頻繁に発生する場合：

- ローラー・原稿センサー・重送検知（発振）、重送検知（受信）を清掃してください。（☞ 34 ～ 40 ページ）

読み取り画像に黒または白い線が出る場合：

- ADF ガラス・基準板を清掃してください。（☞ 38 ページ）

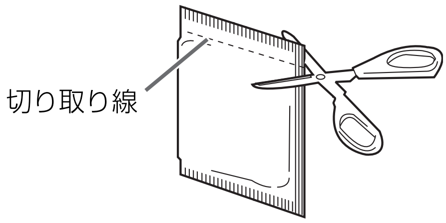
フラットベッドでの読み取り時に黒点や白傷が付く場合：

- 原稿カバーを開けて、ローラークリーニングペーパーでフラットベッドガラスおよびカバーシートを清掃してください。（☞ 41 ページ）

読み取り部の汚れは、読み取る原稿によっても異なります。
安定した読み取りを行うために、こまめに清掃してください。

ローラークリーニングペーパーの取り扱いについて

ローラークリーニングペーパーは、下図のように切り取り線をはさみなどで切って、袋から取り出してください。



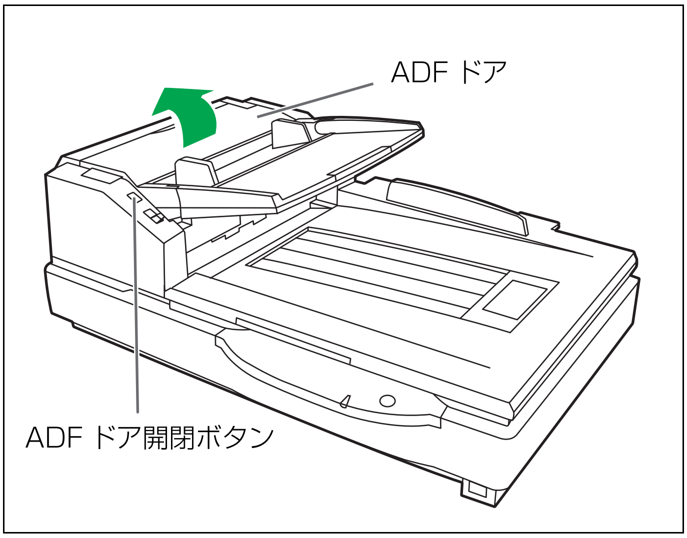
お 願 い

- **開封後は、すぐに使用してください。（袋の中に入れたまま長時間放置すると、ペーパー内のアルコール分が蒸発し、クリーニング効果がなくなります）**
- **ローラークリーニングペーパーは、本機をお買い上げの販売店でお求めください。（別売品品番：KV-SS03NA）**

■ 給紙ローラー・分離ローラー・リタードローラーの清掃

1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 ADF ドア開閉ボタンを押し､ADF ドアを開けます。

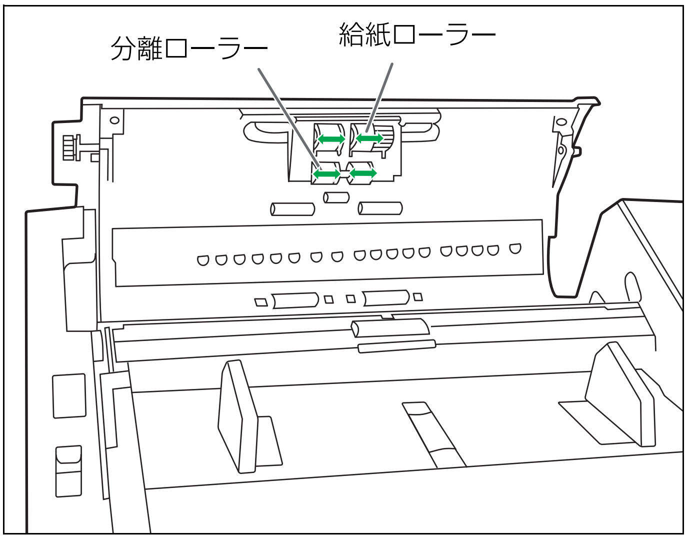


3 ローラークリーニングペーパーで、給紙ローラーと分離ローラー表面の汚れをふき取ります。

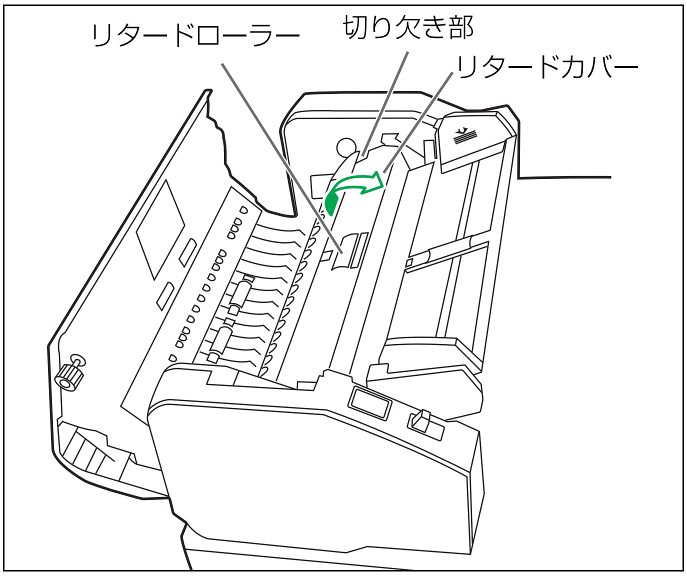
- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**

お 願 い

- **各ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。（右図参照）**



4 奥の切り欠き部から、リタードカバーを矢印方向に開けます。

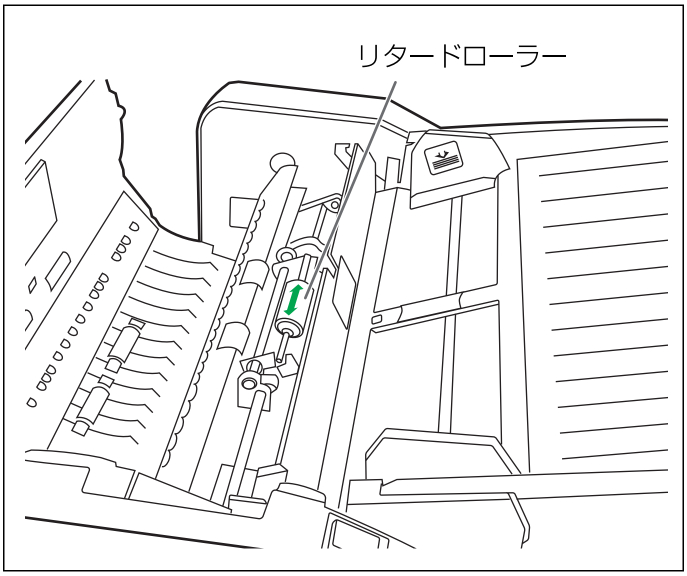


5 ローラークリーニングペーパーで、リタードローラー表面の汚れをふき取ります。

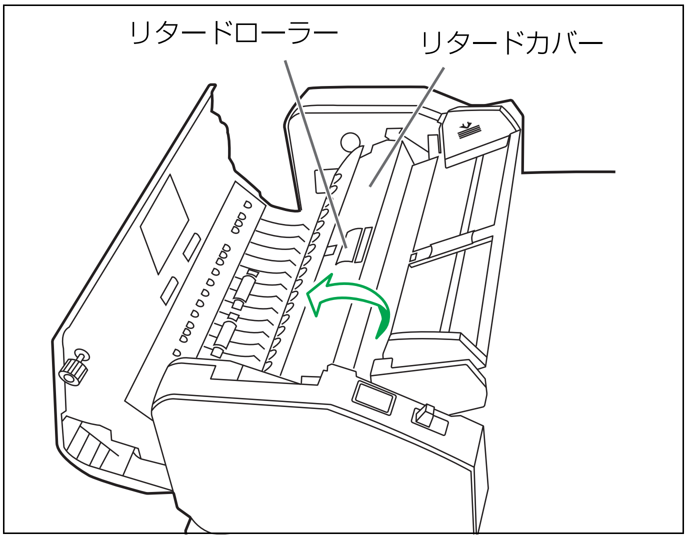
- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**

お 願 い

- **ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。（右図参照）**

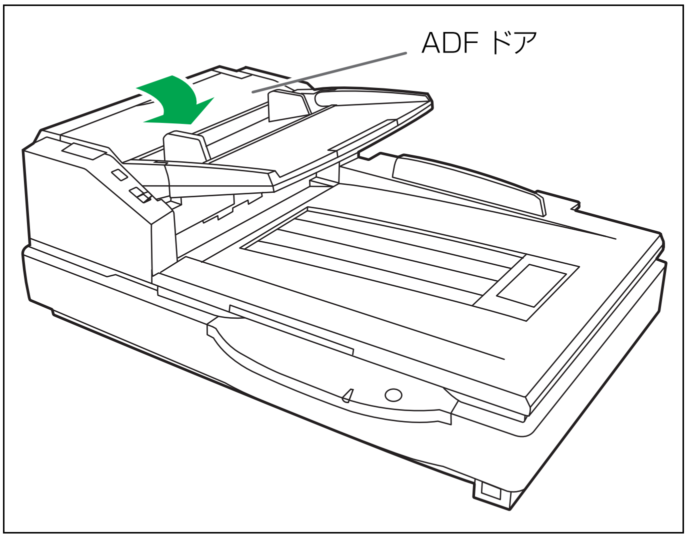


6 リタードカバーを矢印方向に閉めます。



7 ADF ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



8 清掃後はユーザーユーティリティーでローラー清掃カウンターをクリアーします。

- **ローラー清掃後、ユーザーユーティリティーで［ローラー清掃後］の［カウンタークリアー］ボタンをクリックしてカウンターが 0 になることを確認してください。**

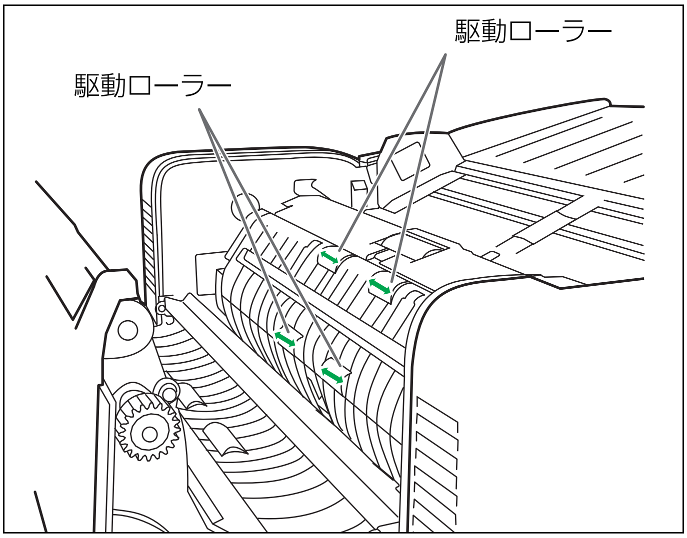
■ 給紙口の駆動ローラーとフリーローラーの清掃

1 電源スイッチを「○」(切)にします。

2 ADF ドア開閉ボタンを押し、ADF ドアを開けます。

3 ローラークリーニングペーパーで、4 個の駆動ローラー表面の汚れをふき取ります。

- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**

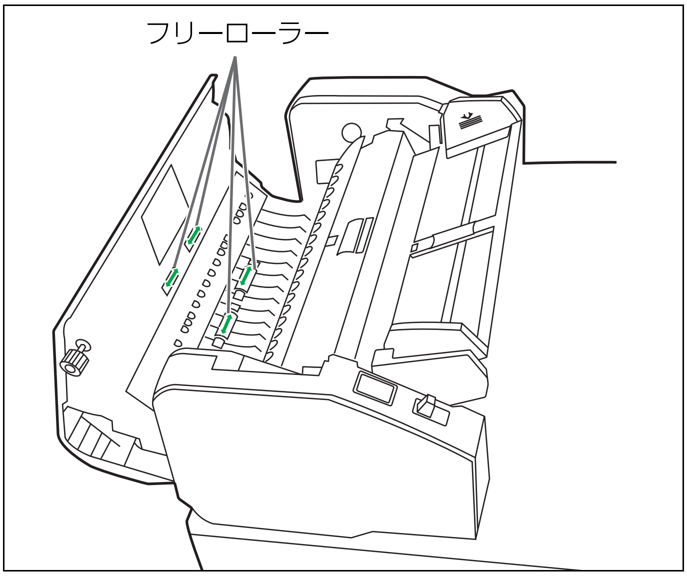


お 願 い

- **ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。(右図参照)**

4 ローラークリーニングペーパーで、4 個のフリーローラー表面の汚れをふき取ります。

- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**



お 願 い

- **ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。(右図参照)**

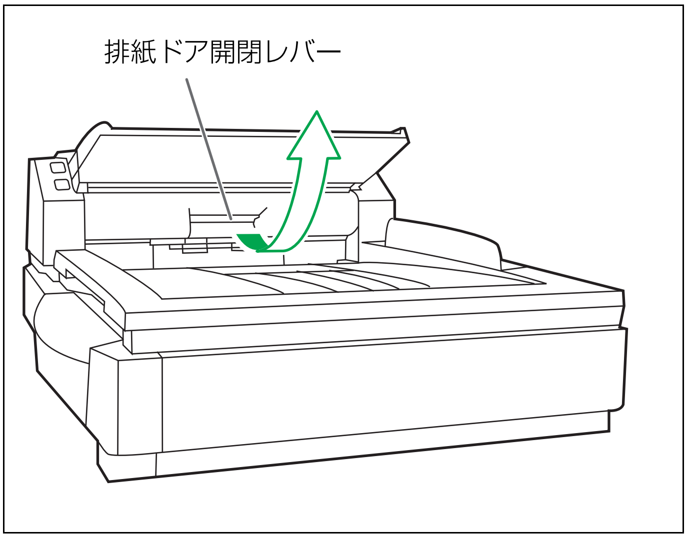
5 ADF ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**

■ 排紙口の駆動ローラー・フリーローラー・排紙ローラーの清掃

1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 排紙ドア開閉レバーを引いて排紙ドアを開けます。

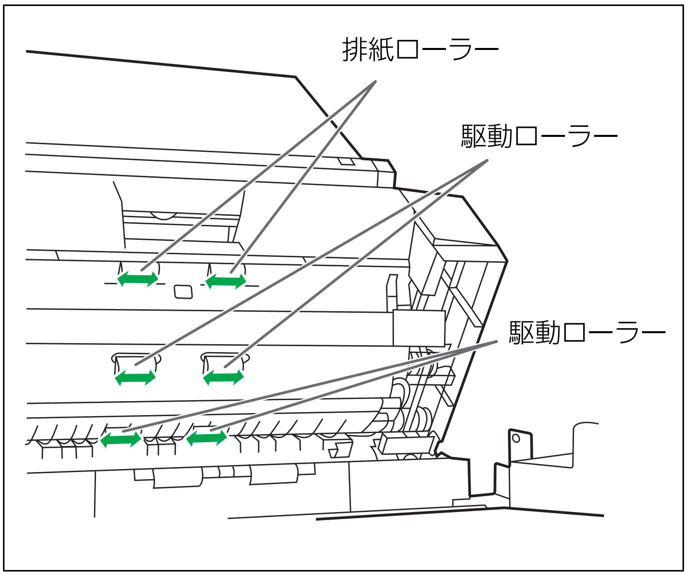


3 ローラークリーニングペーパーで、4 個の駆動ローラーと2個の排紙ローラー表面の汚れをふき取ります。

- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**

お 願 い

- **ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。（右図参照）**

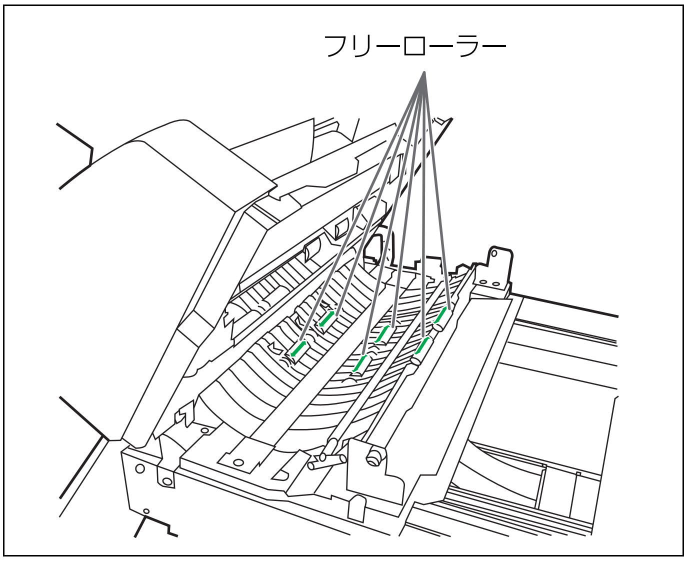


4 ローラークリーニングペーパーで、6 個のフリーローラー表面の汚れをふき取ります。

- **ローラー表面の汚れは、ローラーが回らないように押さえながら、矢印方向に全周ふき取ります。**

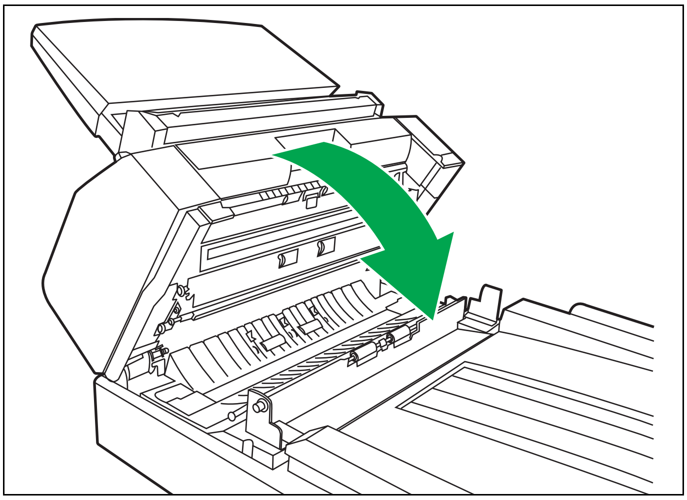
お 願 い

- **ローラーは、必ず指定の方向にふき取ってください。（右図参照）**



5 排紙ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**

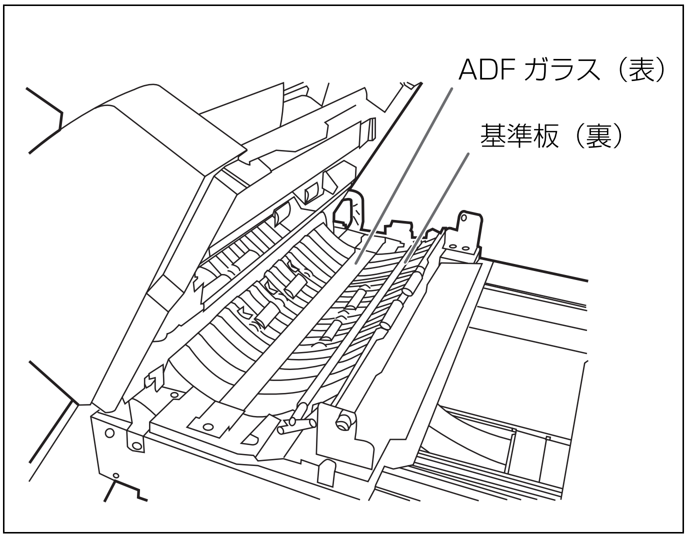


■基準板と ADF ガラスの清掃

1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 排紙ドア開閉レバーを引いて排紙ドアを開けます。

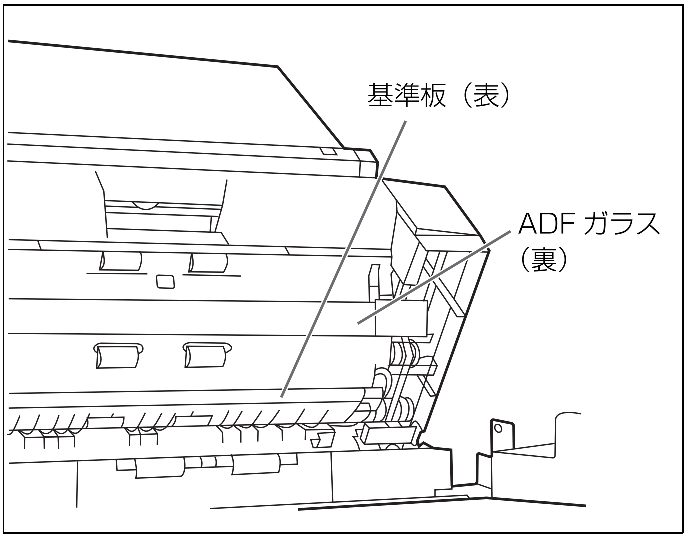
3 ローラークリーニングペーパーで、ADF ガラス（表）と基準板（裏）の汚れをふき取ります。



4 ローラークリーニングペーパーで、ADF ガラス（裏）と基準板（表）の汚れをふき取ります。

5 排紙ドアを閉めます。

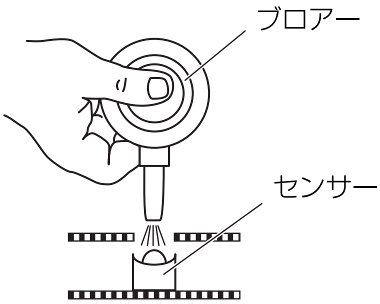
- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



■原稿センサー、待機センサー、重送検知（発振）、重送検知（受信）の清掃

センサー（検知器）や反射板の清掃のしかた

本体付属のブロアーからブラシを取り外し、付着したごみを下図のように吹き飛ばします。

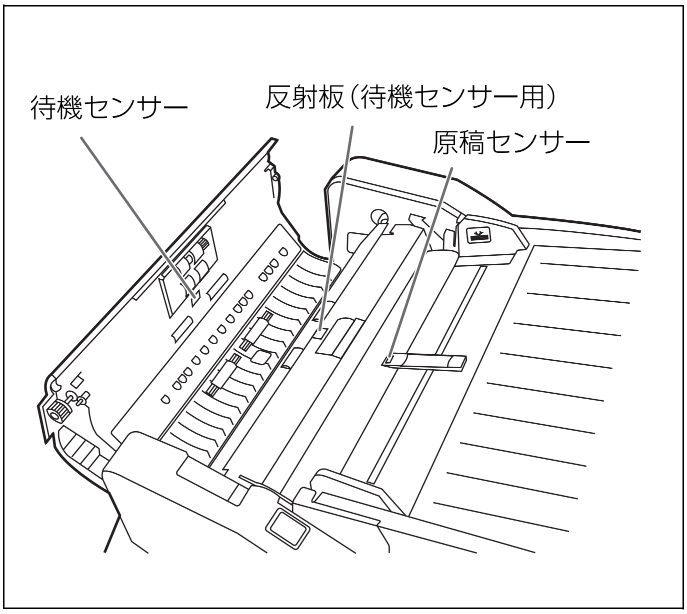


1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 ADF ドア開閉ボタンを押し、ADF ドアを開けます。

3 原稿センサーや待機センサーの表面に付着したごみを本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。

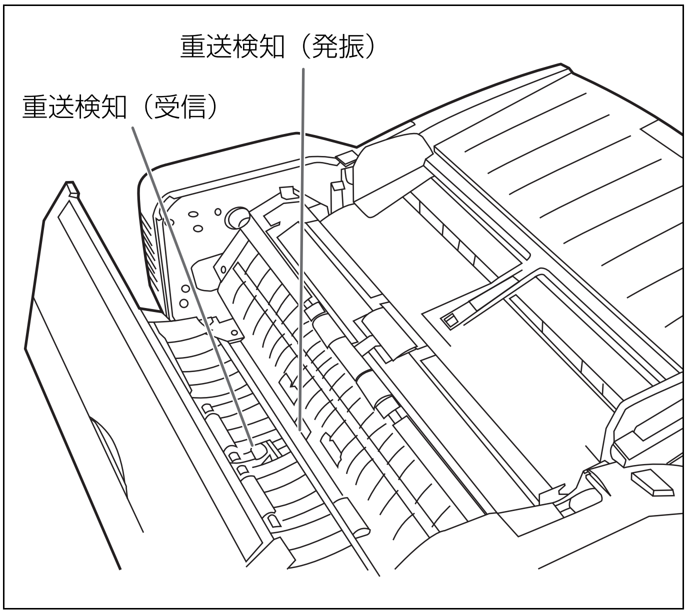
4 同様に待機センサーの反射板の表面に付着したごみも本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。



5 重送検知（発振）、重送検知（受信）に付着したごみを本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。

6 ADF ドアを閉めます。

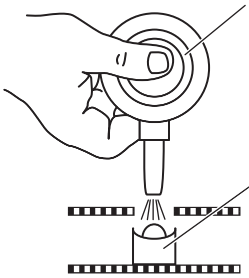
- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



■始端センサー・スキューセンサー・排紙センサーと各センサー反射板の清掃

センサー（検知器）や反射板の清掃のしかた

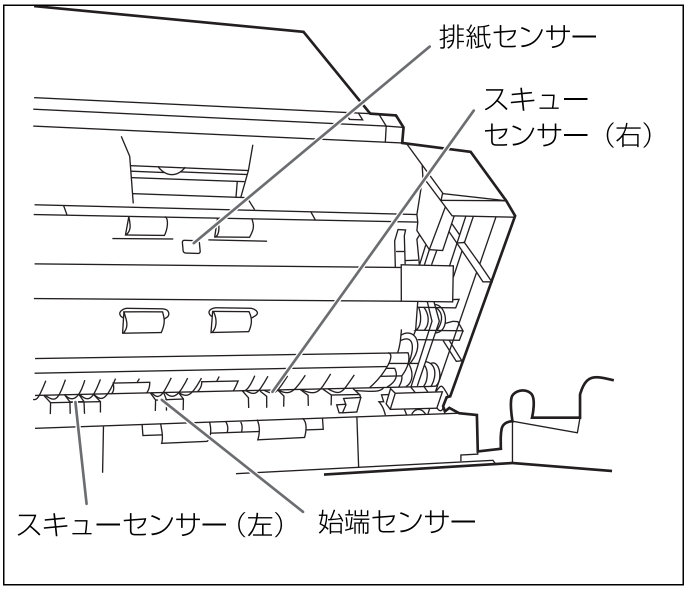
本体付属のブロアーからブラシを取り外し、付着したごみを下図のように吹き飛ばします。



1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 排紙ドア開閉レバーを引いて、排紙ドアを開けます。

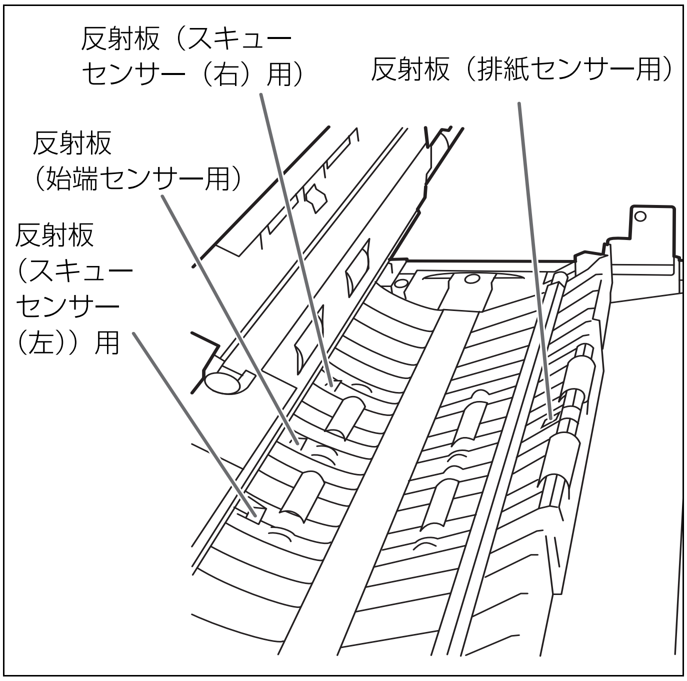
3 始端センサー、スキューセンサー（左）、スキューセンサー（右）、排紙センサーの各表面のごみを本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。



4 同様に、上記３のセンサー用反射板の表面のごみも本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。

5 排紙ドアを閉めます。

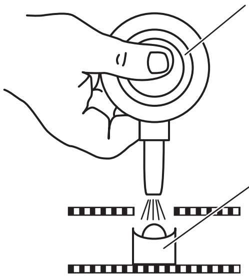
- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**



■フラットベッドガラスと原稿カバーセンサーの清掃

センサー（検知器）の清掃のしかた

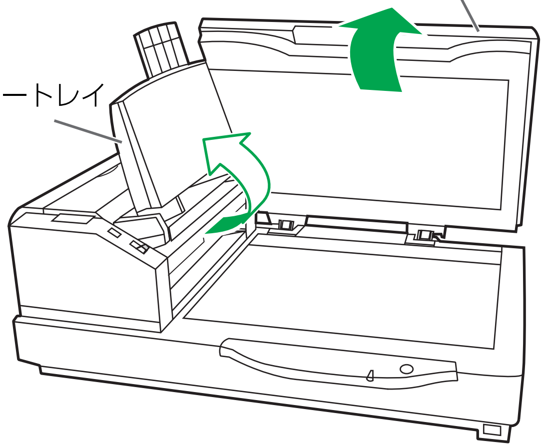
付属品のブロアーよりブラシを取り外し、付着したごみを下図のように吹き飛ばします。



1 電源スイッチを「○」（切）にします。

2 ホッパートレイを矢印の方向に上げます。

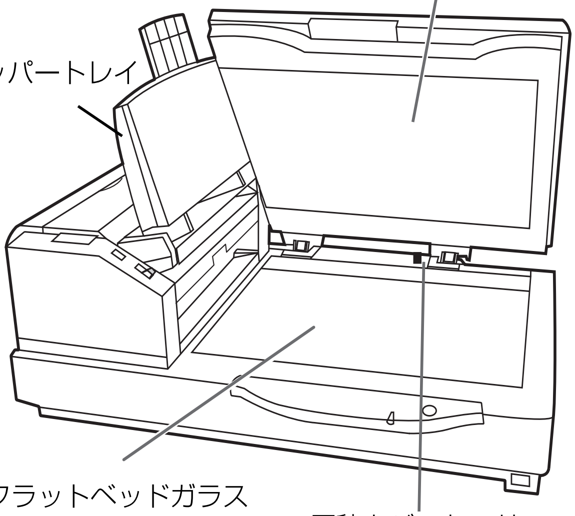
3 原稿カバーを開けます。



4 ローラークリーニングペーパーで、フラットベッドガラス表面の汚れをふき取ります。
同様に、フラットベッドシート表面の汚れもふき取ります。

5 原稿カバーセンサーに付着したごみを本体付属のブロアーを使い吹き飛ばします。

6 原稿カバーを閉め、ホッパートレイを元に戻します。



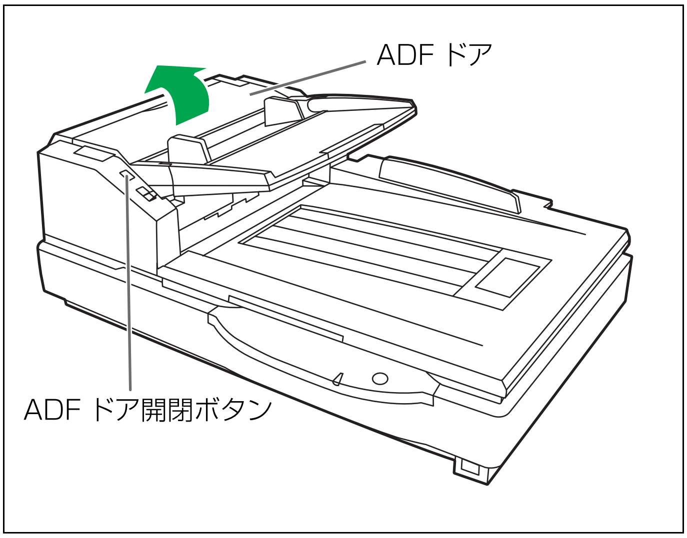
ローラーを交換する

■給紙ローラーモジュールの交換

約 30 万枚読み取り後、交換してください。

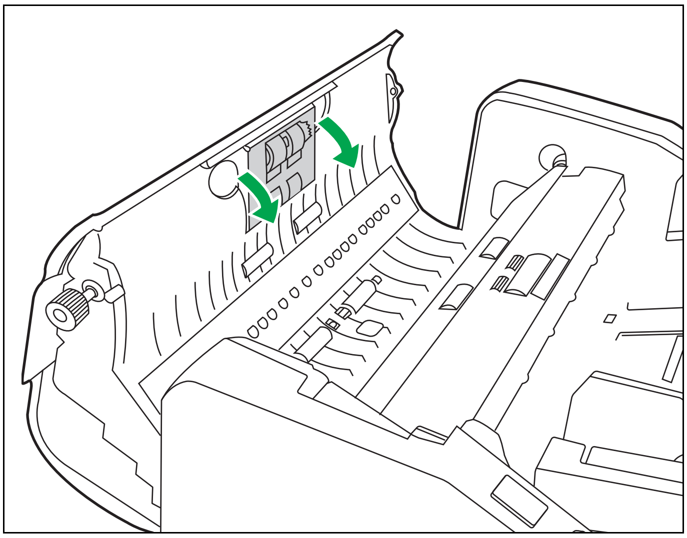
1 電源スイッチを「○」（切）にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 ADF ドア開閉ボタンを押し、ADF ドアを開けます。



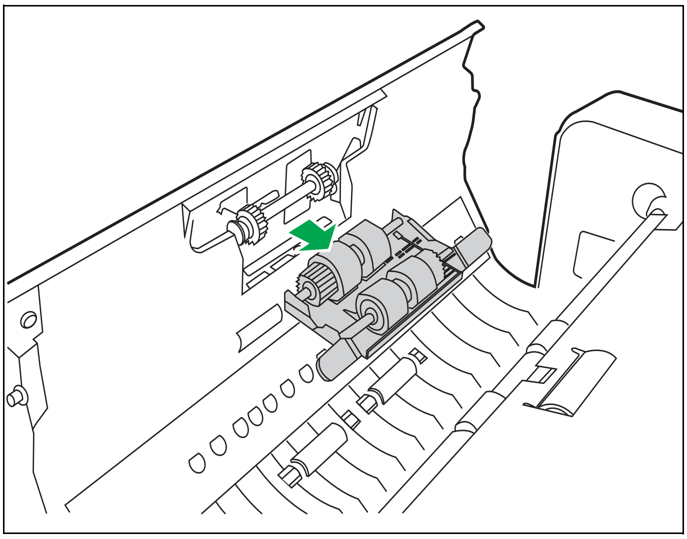
給紙ローラーモジュールを外す

3 矢印で示すように給紙ローラーモジュールの両端のプレートをつかみながら、手前に引き出します。



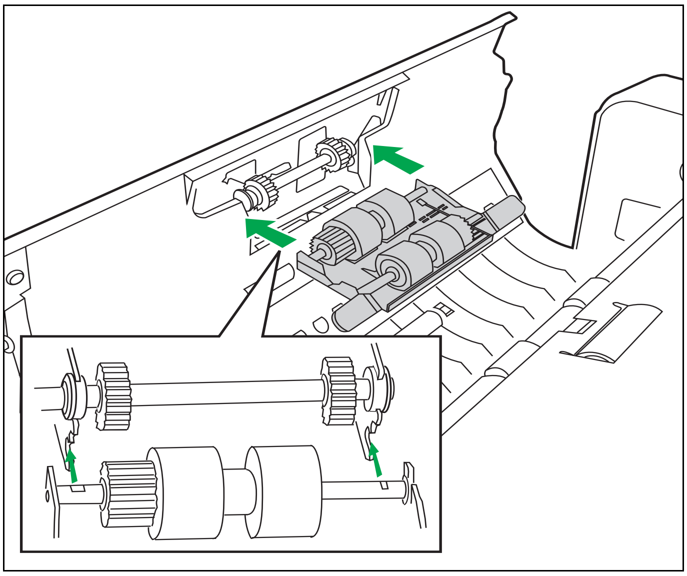
4 図のようにして給紙ローラーモジュールを取り出します。

5 別売の「ローラー交換キット（KV-SS015N）」から新しい給紙ローラーモジュールを取り出します。

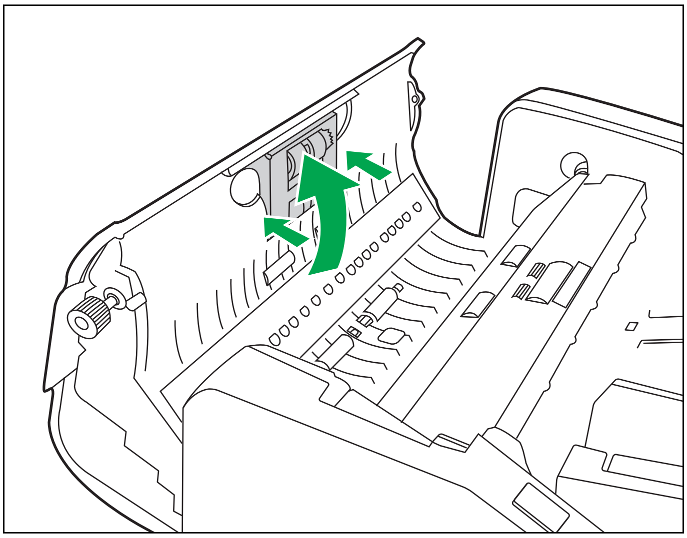


給紙ローラーモジュールを取り付ける

6 新しい給紙ローラーモジュールのシャフト両端の溝を本機の取り付け溝の位置に合わせながら、同モジュールを取り付けます。



7 給紙ローラーモジュールを押し込みながら矢印方向に上げ、両側の磁石で本機に固定します。



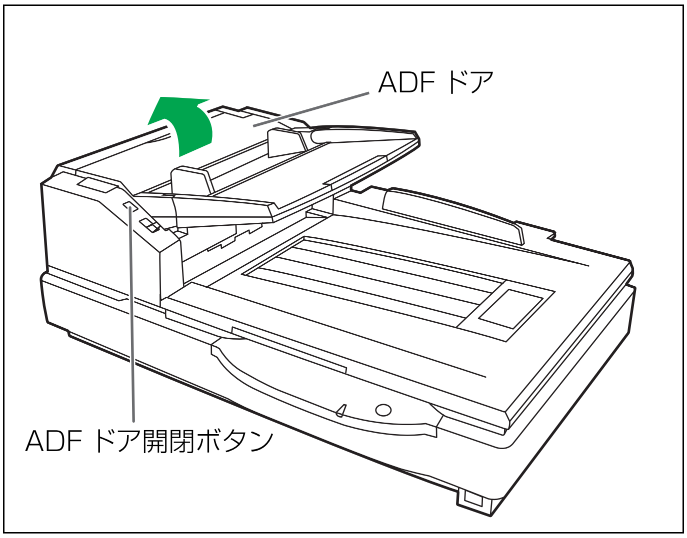
8 ADF ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**

■リタードローラーの交換

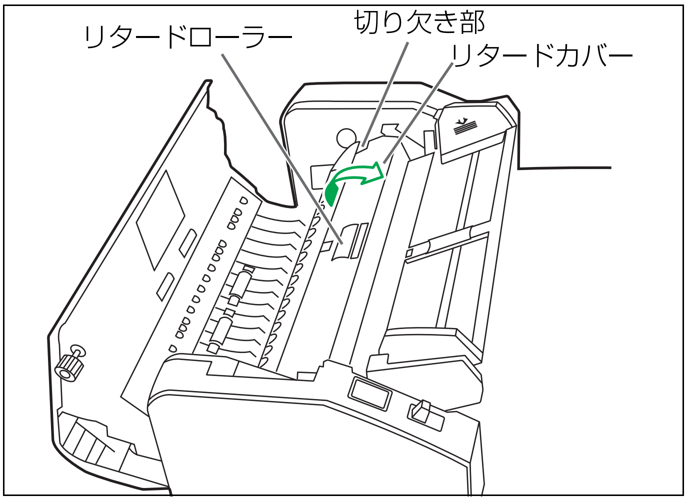
1 電源スイッチを「○」（切）にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 ADF ドア開閉ボタンを押し、ADF ドアを開けます。



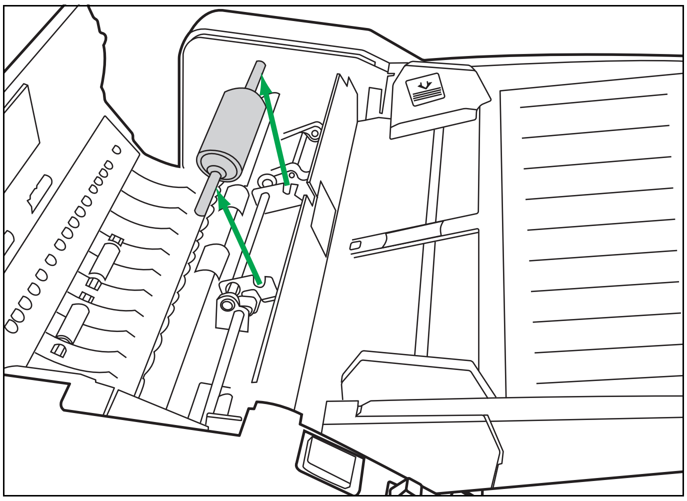
リタードローラーを取り外す

3 後方の切り欠き部から、リタードカバーを矢印方向に開けます。



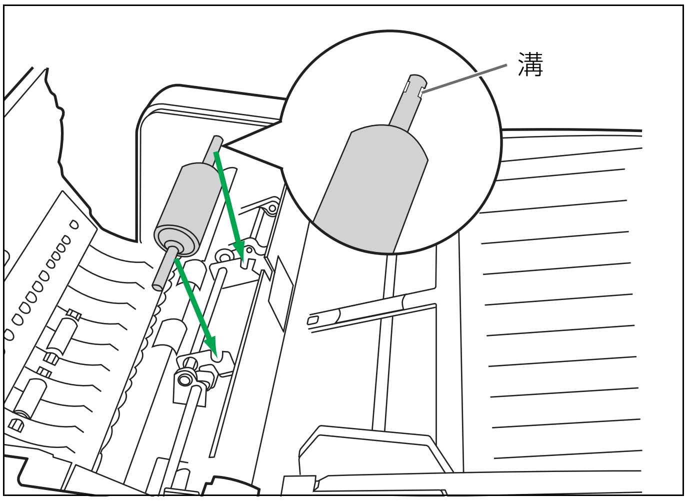
4 矢印方向にシャフトを持ち上げてリタードローラーを外します。

5 別売の「ローラー交換キット（KV-SS015N）」より新しいリタードローラーを取り出します。



リタードローラーを取り付ける

6 リタードローラーシャフトの溝を取り付け金具の溝に合わせて取り付けます。



7 リタードカバーを閉めます。

8 ADF ドアを閉めます。

- **「カチッ」と音がするまで、ゆっくり確実に閉めてください。**

9 交換後は、ユーザーユーティリティーでローラー交換後カウンターをクリアーしてください。

- **ローラー交換後、ユーザーユーティリティーで［ローラー交換後］の［カウンタークリアー］ボタンをクリックしてカウンターが 0 になることを確認してください。**

困ったとき !? (簡単なトラブル点検)

使用中に異常が発生した場合には、下表に従ってまずご確認ください。
それでも直らないときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
電源を入れても、電源ランプ（LED）が点灯しない	電源プラグが抜けています	電源プラグを確実に差し込みます
	電源に問題があります	電源コードをコンセントから抜き、サービスマンに連絡してください
コンピューターからスキャナーが認識されない、動作が不安定	本機とコンピューターが正しく接続されていません	スキャナーとコンピューターを接続するケーブルを確実に接続します
	スキャナーがコンピューターに正しく登録されていません	スキャナーを一度コンピューターからアンインストールした後にスキャナーの登録を行ってください (取扱説明書（設置編）の「ソフトウェアをインストールする」を参照してください)
	コンピューターのUSBインターフェースが正しくインストールされていません	デバイスマネージャーのプロパティなどで確認し、USB インターフェースを正しくインストールしてください
	USB ハブを経由して接続している	USB ハブを経由して接続しないでください
	USB ケーブルに問題があります	付属の USB ケーブル、または USB 2.0 Hi-Speed ロゴ認証済みの USB ケーブルを使用してください
USB 接続時に読み取り速度が遅くなる	USB1.1 に接続している	USB2.0 に接続してください
ADF ドア開閉ボタンを押しても ADF ドアが開かない	ADF ドアがしっかり閉じていない	ＡＤＦ ドアを確実に閉めてから、再度開閉ボタンを押してください
(ADF) 給紙トレイに原稿を乗せても、読み取りスタートしない	原稿が正しくセットされていません	原稿を正しくセットします (☞ 15 ページ)
	原稿がカールしてセンサーにかかっていません	原稿のカールを伸ばしてから、給紙トレイに再度セットします
(ADF) 原稿が重送するなどスムーズに搬送されなかったり、読み取りの途中で原稿が止まる	給紙、搬送、排紙の各ローラーが汚れています	ローラーを清掃します (☞ 34 ページ)
	給紙、搬送、排紙の各ローラーが摩耗しています	給紙ローラーモジュールとリタードローラーモジュールを交換します (☞ 42 ページ、44 ページ)
	原稿がカールしたり、端が折れるなどにより、左右の厚みが違っています	原稿のカールまたは折り目を直し、枚数を減らします
	規定外の種類または厚みの原稿です	読み取り可能な種類、または厚みの用紙にコピーして読み取ってください (☞ 15 ページ)
	原稿の長さが規定（70 mm）より短い	読み取り可能な原稿サイズの用紙にコピーして読み取ります (☞ 15 ページ)

症　状	原　因	処　置
(ADF) 読み取り画像が斜めになっている	原稿ガイドが原稿の両端に当っていない、または原稿が斜めにセットされています	原稿ガイドや原稿を正しくそろえてセットします
	原稿がカールしたり、端が折れるなどにより、左右の厚みが違っています	原稿のカールまたは折り目を直し、枚数を減らしてセットします
読み取り後の画面表示が真っ白である	読み取り面が裏返しにセットされています	読み取り面を正しくセットしてください (☞ 19 ページ)
読み取り後の画面表示に縦スジが現れる	ADF ガラス、フラットベッドガラスが汚れています	ADF ガラス、フラットベッドガラスを清掃します (☞ 38ページ、41 ページ)
	基準板、フラットベッドシートが汚れています	基準板、フラットベッドシートを清掃します (☞ 38 ページ、41 ページ)
読み取り画像に濃度ムラがある	ADF ガラス、基準板、フラットベッドガラス、フラットベッドシートが汚れています	ADF ガラス、基準板、フラットベッドガラス、フラットベッドシートの清掃を行います (☞ 38 ページ、41 ページ)
	光量分布のバラツキがあります	シェーディングを調整します。ユーザーユーティリティーの 4.6 項を参照してください。
読み取り画像の色調が著しく原稿と異なる	ディスプレイの設定がずれています	ディスプレイの設定を調整します
読み取り画像に黒点やノイズが発生する	ADF ガラス、基準板、フラットベッドガラス、フラットベッドシートが汚れています	ADF ガラス、基準板、フラットベッドガラス、フラットベッドシートの清掃を行います。 (☞ 38 ページ、41 ページ)
読み取り画像に縞模様や波模様（モアレ）がある	原稿の印刷パターンと読み取り画像の関係により発生することがあります	モアレ除去機能を使用するか、読み取り解像度を変えて読み取ってください

シェーディング補正

●シェーディング補正とは

シェーディング補正とは、ランプ光量、センサー画素感度などのばらつきを補正し、読み取り画像の濃度むらを低減するための機能です。本機では、付属の専用シェーディング用紙を用いてユーザーユーティリティーにて行うことができます。

●シェーディング補正が必要な時

読み取った画像の色が部分的に極端に異なるとき、または画像品質がスキャナーの内部を清掃した後も改善されないときに行ってください。

●シェーディング補正を実施する前に

シェーディング補正を行う前には、必ず ADF ガラス（表)、ADF ガラス（裏)、基準板（表)、基準板（裏）および読取り部周辺の搬送路、駆動ローラーを確実に清掃してください。
汚れたままでシェーディング補正を行いますと、読み取った画像にスジが入ったまま消えなくなります。

●シェーディング補正方法

1. ユーザーユーティリティーを起動してください。
2. メインメニュー上の「ユーザーシェーディング」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。
   詳細はユーザーユーティリティーリファレンスマニュアルの 4.6 を参照してください。

●注意

シェーディング補正を行った後に読取った画像にスジが入り、ADF ガラスを清掃してもスジが消えない時はシェーディングが正しく行われていませんので、再度清掃をしてからシェーディング補正を行ってください。

再包装のしかた

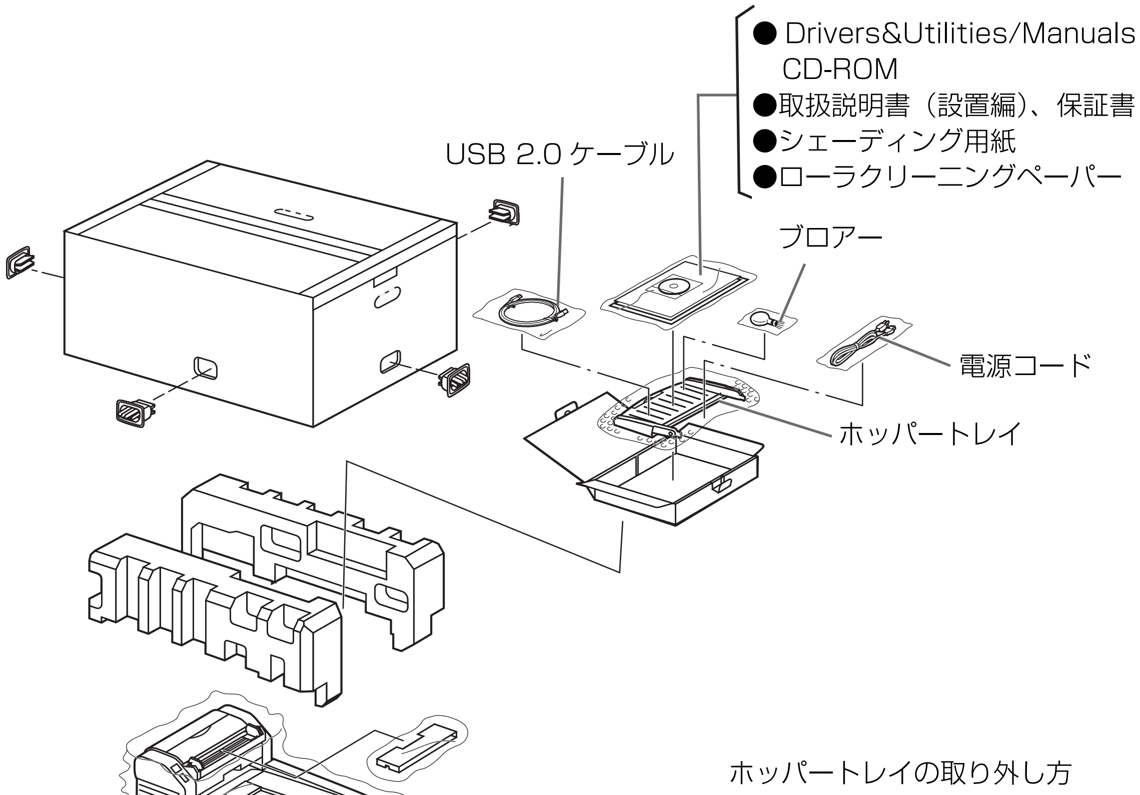
輸送用包装箱、緩衝材などの包装資材は、再包装時に必要になりますので、すべて大切に保管してください。
本機を移設する場合は、以下の手順に従って再包装してください。
包装時に必要なもの：
- 本機専用の包装箱・包装資材
- 包装用テープ・はさみ

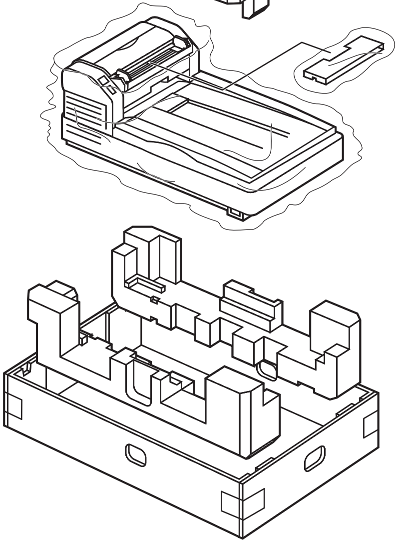
お 願 い
- 再包装する際は、必ず本機専用の包装箱・包装資材をご使用ください。
- 再包装が適切に行われていないと本機が故障し、修理に費用がかかりますので十分注意してください。
- 包装時および運搬時は、本機を倒さないでください。

1 電源スイッチを切って、コンセントから電源プラグを抜き、USB ケーブルを外します。

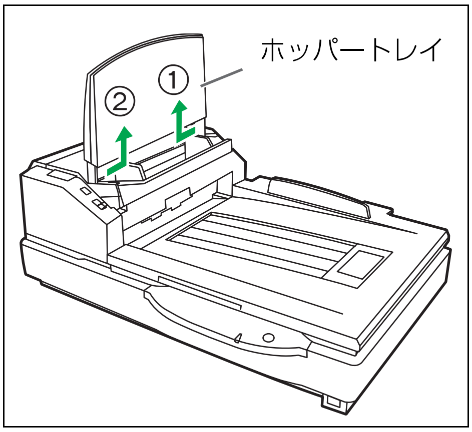
2 ホッパートレイを取り外します。

3 本機を付属品と一緒に包装します。





ホッパートレイの取り外し方



仕様

項目		品番	KV-S7075CN
読み取り部	読み取り面		両面読み取り
	読み取り方法		CIS（密着式カラーイメージセンサー）
	読み取り速度*1 （A4 横） （カラー／モノクロ 2 値）	フラットベッド	0.527 秒（200 dpi、300 dpi）
		ADF	片面：約 95 枚／分、両面：約 190 画像 / 分（200 dpi） 片面：約 82 枚／分、両面：約 164 画像 / 分（300 dpi）
	読み取り速度*1 （A4 縦） （カラー／モノクロ 2 値）	フラットベッド	0.745 秒（200 dpi、300 dpi）
		ADF	片面：約 75 枚／分、両面：約 150 画像 / 分（200 dpi） 片面：約 62 枚／分、両面：約 124 画像 / 分（300 dpi）
	解像度	フラットベッド /ADF	100 ～ 600 ドット／インチ（1 ドット／インチ　ステップ） 光学解像度 : 600 ドット／インチ 主走査方向と副走査方向の解像度は同じです。
	階　調		2 値、グレースケール（8 ビット）、カラー（24 ビット） ディザ処理（16/256 階調）、誤差拡散処理
	画像処理		画質（5 段階）、ダイナミックスレッシュホールド、 ノイズ除去、傾き補正*2、像域分離*2、鏡像反転*2、 原稿領域自動切り出し*2、白黒反転*2、ガンマ補正、 マルチクロップ*2、ページ分割*2
	読み取り原稿サイズ	フラットベッド	297 × 432 mm まで
		ADF	48 × 70 mm ～ 297 mm　× 432 mm
	搬送可能原稿厚み	ADF	0.05 mm ～ 0.15 mm
	搬送可能原稿重量	ADF	40 ～ 127 g/m^2 A7 サイズ以下の原稿は、127 g/m^2 のみ
	ホッパー容量		最大 200 枚（64 g/m^2 紙）
本　体	外形寸法（横幅×奥行×高さ）		755 × 508 × 289 mm
	質　量		29 kg
	電　源		交流 100 － 120 V、50/60 Hz
	消費電力	スキャナー読み取り中	110 W（AC100 ～ 120 V）
		待　機　中	60 W（AC100 ～ 120 V）
		省電力モード中	3.5 W 以下（AC100 ～ 120 V）

項目＼品番		KV-S7075CN
環　　境	使 用 環 境	温度：15 ～ 30 ℃、湿度：30 ～ 80 %
	保 存 環 境	温度：0 ～ 40 ℃、湿度：10 ～ 80 %
別 売 品＊3	ローラー交換キット（KV-SS015N） ローラークリーニングペーパー（KV-SS03NA） インプリンター（KV-SS014N） インクカートリッジ（KV-SS021N）	

＊1 読み取り速度は使用するコンピューター、オペレーティングシステム、アプリケーション、画像のデータ量および紙質によって異なります。
＊2 これらの機能はドライバーソフトウェアか RTIV により実行されます。
＊3 別売品のご購入は、スキャナーをお買い上げの販売店までご連絡ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

消耗部品については保証期間内でも保証対象外です。

■補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、この高速カラースキャナーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

取扱説明書（操作編）46〜47ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●**保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●**保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	高速カラースキャナー
品　番	KV-S7075CN
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●**修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

— アルファベット順—

ページ

ADF ガラス 13, 38
ADF ドア 12, 31, 34
ADF ドア開閉ボタン 12, 31, 34
CD-ROM. 9, 49
CPU 3
LED 14
Start/Stop ボタン 12
USB コネクター 12
USB 接続 3
USB ハブ 3, 46

— 五十音順—

ページ

あ

安全上のご注意 5
インターフェース 3
インプリンタードア 12
上カバー 12
内側（読み取り部）の清掃 33
エネルギースター 3
お手入れ . . . . . 33 – 41
オペレーティングシステム 3

か

外形寸法 50
解像度 50
階調 50
各部のなまえと働き 12
画像処理 50
基準板 13, 29, 38
給紙口 31
給紙ローラー 34
給紙ローラーモジュール 42
駆動ローラー 36, 37
原稿ガイド 12, 18, 19, 22
原稿ガイドロック 12, 21, 24
原稿カバー 12, 30
原稿サイズ 50
原稿センサー 39
原稿詰まり 31
原稿の読み取り 15, 25
後面ストッパー 12
困ったとき 46
コントロールシート 27
コンピューター 3

さ

最大量表示 19
再包装 49
シェーディング 47, 48
シェーディング用紙 49
システムの必要条件 3
始端センサー 40
質量 50
重送検知センサー 39
仕様 50
使用環境 51
消費電力 50
スキューセンサー 40

た

待機センサー 39
正しくお使いいただくためのお願い 9
縦置き 19
手差し切替レバー 12, 17, 21
電源 50
電源コード 5, 12, 49
電源スイッチ 12, 14
電源用コネクター 12
電源ランプ（LED） 12, 14

ページ

は

ハードディスク 3
排紙ストッパー 12, 18, 22
排紙センサー 40
排紙ドア 13, 29, 32
排紙ドア開閉レバー 13, 29
排紙トレイ. 12
排紙ローラー 37
ファン排気口 12, 33
フラットベッド 25, 30, 50
フラットベッドガラス. 13, 33, 41
フラットベッドシート. 13, 30, 41
フリーローラー 36, 37
ブロアー 39, 40, 41, 49
分離ローラー 34
別売品. 51
保証とアフターサービス 52
保存環境 51
ホッパー 12, 18, 22
ホッパー延長トレイ 12, 18, 22
ホッパートレイ 12, 15, 25
ホッパー容量 50

ま

メモリー 3

や

ユーザーユーティリティー 14, 35, 45, 48
横置き. 19
読み取り可能な原稿 15
読み取り速度 50
読み取り方法 50
読み取り面. 50

ら

リタードカバー 34, 35, 44
リタードローラー. 34, 44
ローラークリーニングペーパー 33
ローラーの交換 42
　給紙ローラーモジュールの交換. 42
　リタードローラーの交換 44

パナソニック システムネットワークス株式会社

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2008

PJQFC0074WA K0908YR3110